

# 自治研報 かながわ

1980

6/7

合併号

No.32 特集 '80衆参同時選挙の結果を総括する



神奈川県地方自治研究センター

# 80 両院選挙本県の開票結果

| 1 区 定数4・立候補9   |                | 4 区 定数4・立候補7     |                  |
|----------------|----------------|------------------|------------------|
| 当 130,553      | 小此木 彦三郎 自前     | 当 176,792        | 大出 俊郎 社前         |
| 当 89,125       | 浦藤 隆茂 民自       | 当 160,423        | 佐藤 一 郎 社自        |
| 当 87,094       | 伊藤 和之 公自       | 当 122,139        | 高橋 一高 望民         |
| 当 84,155       | 伏木 圭 雄輔 新前     | 当 108,210        | 高草 野田 威達 公自      |
| ◎ 71,356       | 陶工 上 見等 元新     | ◎ 104,195        | 石堀 豊彦 自新         |
| ◎ 55,096       | 藤上 边 恭 社民      | ◎ 70,392         | 新依 雄一 郎 自新       |
| × 16,818       | 田渡 小 章 無新      | × 2,736          | 依岡 紀 労新          |
| × 2,678        |                |                  |                  |
| × 2,050        |                |                  |                  |
| [投票総数] 546,813 | [有効投票] 538,925 | [投票総数] 753,218   | [有効投票] 744,887   |
| [投票率] 65.40%   | [無効投票] 7,888   | [投票率] 70.57%     | [無効投票] 8,331     |
| 2 区 定数5・立候補8   |                | 5 区 定数3・立候補5     |                  |
| 当 159,183      | 田川 誠一 自前       | 当 121,494        | 亀井 善之 自前         |
| 当 146,681      | 小泉 純一郎 自前      | 当 110,268        | 河野 洋平 自前         |
| 当 127,275      | 岩垂 寿喜男 社前      | 当 104,838        | 平林 剛勝 社元         |
| 当 116,213      | 市川 雄雅 公自       | ◎ 98,126         | 河村 共栄 共新         |
| 当 110,879      | 中路 弘一 公自       | × 39,387         | 岡村 共栄 共新         |
| ◎ 107,532      | 小川 泰三 民自       |                  |                  |
| ◎ 65,404       | 山田 吉三 自新       |                  |                  |
| × 5,520        | 山本 正治 労新       |                  |                  |
| [投票総数] 849,228 | [有効投票] 838,687 | [投票総数] 481,011   | [有効投票] 474,113   |
| [投票率] 69.27%   | [無効投票] 10,541  | [投票率] 74.22%     | [無効投票] 6,898     |
| 3 区 定数3・立候補6   |                | 参院地区区 定数2・立候補9   |                  |
| 当 162,054      | 戸沢 政方 自前       | 当 902,170        | 秦野 章 自現          |
| 当 131,889      | 加藤 利万 社自       | 当 692,100        | 竹田 四郎 社民         |
| 当 128,587      | 甘藤 新一 自公       | ◎ 664,167        | 広長 敬太 郎新         |
| ◎ 128,067      | 小濱 新一 次公       | ◎ 462,753        | 小泉 裕宏 無新         |
| ◎ 83,793       | 増本 彦 共元        | ◎ 349,989        | 大西 宏洋 新新         |
| × 4,460        | 東本 徹 労新        | × 28,765         | 野村 朝 要無          |
|                |                | × 23,670         | 原中 洋 諸新          |
|                |                | × 20,262         | 吉川 朝 要無          |
|                |                | × 6,628          | 吉川 朝 臣諸          |
| [投票総数] 647,749 | [有効投票] 638,850 | [投票総数] 3,276,990 | [有効投票] 3,150,505 |
| [投票率] 71.35%   | [無効投票] 8,899   | [投票率] 69.95%     | [無効投票] 126,485   |

[注] 「◎」は法定得票数に達した者  
「×」は供託金を没収される者

## もくじ ◆◆ CONTENTS

### 80衆参同時選挙の総括の視点

中央大学教授 横山桂次

|                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 80同時選挙の意義             | 3  |
| 2. 投票率上昇のもたらしたもの         | 4  |
| 3. 自民党大勝の3つの要因           | 6  |
| 覆面座談会 衆参ダブル選挙を社会党はどう闘ったか |    |
| 1. 同時選挙の体制づくりは           | 9  |
| 2. 参院地区区の勝因は             | 10 |
| 3. 参院全国区はどうだったか          | 11 |
| 4. 自民党大勝の原因は             | 12 |
| 5. 衆院選の結果は               | 13 |
| 6. 今後の課題と展望              | 15 |

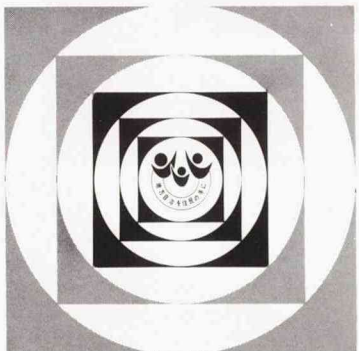
### ルポ もうひとつの神奈川

横浜演劇研究所

|                  |    |
|------------------|----|
| 資料Ⅰ 衆院選党派別得票の推移  | 20 |
| 資料Ⅱ 参院選党派別得票の比較表 | 22 |

自治研 かながわ 1980 6/7 合併号

No.32 特集 '80衆参同時選挙の結果を総括する



神奈川県地方自治研究センター

〔問題提起〕

# '80衆参同時選挙の総括の視点

中央大学教授 横 山 桂 次

(県自治研センター代表理事)

## 1. 80年同時選挙の意義

今度の総選挙では予想に反して自民党が大勝しました。まず同時選挙の総括を始める前に今回の選挙の意義を考えてみたいと思います。同時選挙が行われるようになった結果を見ますと、ひとつにはやはり衆院における不信任の成立がありますが、一体この不信任案の成立はなぜ起ったのかということから考えてみる必要があります。

そもそもは自民党内部の派閥の対立が直接の原因だと言われていますが、その派閥抗争と結び付いた自民党の問題点には、構造的な政治腐敗の問題があるということです。その構造的な政治腐敗とリーダーシップの喪失が絡んできますが、それ以上に重要なのは、自民党の政策がかなり行きづまってきたことです。ひとつは財政にそれが現われているわけで、国債発行残高が71兆円以上になるという問題が出てきます。これは増税問題と絡んでいるわけです。一方緊急の政策課題として残っている問題には、物価・エネルギー等があり、また経済不況と関連がありますが、軍備の強化—自衛隊の増強、あるいは武器の輸出という問題があります。このような問題が内部の派閥抗争の問題と結び付いてきているとも言えるだろうと考えます。

そこから当然55年体制の終焉、つまり、自民党・財界・官僚という三位一体の55年体制が崩壊し

つつある、したがって政権の野党への移行がかなり具体的な現実性を持ち始めているということが、前々回、そして特に前回の総選挙、あるいはその前の参院選挙で指摘されてきました。だから、そのような意味では時代の趨勢としての政党連合の時代を迎えていること、したがって、また、新しい政党政治のあり方が問われているという認識が一般的にあったと言えるだろうと思います。

—— ぼけていた政策論争

ところが、そのような時代の趨勢としての新しい連合時代を迎えるにあたって、野党側の対応がどうであったのかということです。結局、時代の趨勢と現実の野党のあり方の間にはかなりギャップがあり、したがって不信任案成立、解散—総選挙、つまり同時選挙という事態になった時に、野党の側の対応はかならずしも充分でなかったという問題があったと思います。そのような点が今度の選挙の持つ意味だろうと思います。それが現実にはどう選挙戦の中で展開されて行ったかというよりも、そのような問題がかなり背後に押しやられて個別のさまざまな要因がそこに加わってきたと思います。そのことは自民党が大勝した原因を追求する中で触れたいと思います。

これまで述べたような同時選挙の意味を前提にして考えますと、システムとして政党政治が機能している時、衆参同時選挙のような時には、政策論争がより鮮明になると考えられるわけです。少くとも、今度の選挙については有権者の関心が増大したのですが、しかし現実には政策論争、あ

るいは政策の争点というものがあってほけて来たと言えるだろうと思います。それでは一体有権者が非常に関心を高めたと言われるのだけれども、何に対して関心を高めたのかを分析してみる必要があると思います。そのことを前置きにして、選挙の結果を見てみます。

## 2. 投票率上昇が もたらしたもの

第一に指摘されることは、投票率が急激に上昇したことです。これは当日の有権者（8,090万人）の中で投票した人が6,030万人にのぼります。衆議院選の投票率は74.57%で、これは戦後第4位の高率です。参院選はやや下がっていますが、それは下がっているといえる程度のものでなくて、ほぼ同じくらいの比率で、しかも戦後最高であった49年7月の73.2%を上まわる74.54%の投票率です。あきらかに同時選挙には相乗効果がありました。その相乗効果の中には大平首相の死去とい

うことが加えられるのかもしれませんが。

### —— 都市部の投票率が急上昇

衆院選を見ますと、前回よりも平均して6.56%投票率が上昇しています。この投票率の上昇は一般的にどの県でもあるのですが、平均以上が高かったのは、茨城・栃木・埼玉・千葉・東京・神奈川・石川・福井・愛知・滋賀・京都・大阪・兵庫などの県です。その中でも東京・神奈川と、それに石川・福井が著しく上昇しています。一般的に今度の選挙の特徴は、都市部の投票率の上昇がめだっていることです。いつもは都市部の投票率は低いのですが、今回はかなり上昇しています。この高い投票率が一体各党にどのように影響したのが、さしあたって今回の選挙の問題点だと思います。

まず議席の結果を見てみますと、これは表にある通りです。議席数で非常にめだつのは、衆院選でまず見ますと、自民党が28議席増、新自由クラブが8議席増、反対に公明党が24議席減、共産党が12議席減少しています。この辺がめだつ点です。

表 1

### 80 全国衆参両院選挙

|          |     | 総 数  |            |            | 社 会 党          |            |       | 公 明 党 |           |       | 民    |           |
|----------|-----|------|------------|------------|----------------|------------|-------|-------|-----------|-------|------|-----------|
|          |     | 有権者数 | 有効投票       | 有効投票率      | 得票             | 得票率        | 絶対得票率 | 得票    | 得票率       | 絶対得票率 | 得票   |           |
| 衆議院      | 80  | 得票   | 80,925,034 | 59,028,834 | 72.94          | 11,400,747 | 19.3  | 14.1  | 5,329,942 | 9.0   | 6.6  | 3,896,728 |
|          |     | 議席   |            | 511        | 投票率<br>(74.57) | 107        |       |       | 33        |       |      | 32        |
|          | 79  | 得票   | 80,169,924 | 54,010,116 | 67.37          | 10,643,450 | 19.7  | 13.3  | 5,282,682 | 9.8   | 6.6  | 3,663,691 |
|          |     | 議席   |            | 511        | (68.01)        | 107        |       |       | 57        |       |      | 35        |
|          | 増△減 | 得票   | 755,110    | 5,018,718  | 5.57           | 757,297    | △0.4  | 0.8   | 47,260    | △0.8  | 0    | 233,037   |
|          |     | 議席   |            | 0          | (6.56)         | 0          |       |       | △24       |       |      | △3        |
| 参議院(地方区) | 80  | 得票   | 80,925,034 | 56,700,554 | 70.07          | 12,715,880 | 22.4  | 15.7  | 2,817,379 | 5.0   | 3.5  | 2,917,239 |
|          |     | 議席   |            | 76         | (74.54)        | 13         |       |       | 3         |       |      | 2         |
|          | 77  | 得票   | 78,321,715 | 51,799,177 | 66.14          | 13,403,215 | 25.9  | 17.1  | 3,206,719 | 6.2   | 4.1  | 2,318,386 |
|          |     | 議席   |            | 76         | (68.49)        | 17         |       |       | 5         |       |      | 2         |
|          | 増△減 | 得票   | 2,603,319  | 4,901,367  | 3.93           | △687,335   | △3.5  | △1.4  | △389,340  | △1.2  | △0.6 | 598,853   |
|          |     | 議席   |            | 0          | (6.05)         | 4          |       |       | △2        |       |      | 0         |
| 参議院(全国区) | 80  | 得票   | 80,925,034 | 55,957,340 | 69.15          | 7,341,747  | 13.1  | 9.1   | 6,669,365 | 11.9  | 8.2  | 3,364,478 |
|          |     | 議席   |            | 50         | (74.54)        | 9          |       |       | 9         |       |      | 4         |
|          | 77  | 得票   | 78,321,715 | 50,682,588 | 64.71          | 8,805,617  | 17.4  | 11.2  | 7,174,458 | 14.2  | 9.2  | 3,387,540 |
|          |     | 議席   |            | 50         | (68.49)        | 10         |       |       | 9         |       |      | 4         |
|          | 増△減 | 得票   | 2,603,319  | 5,274,752  | 4.44           | △1,463,870 | △4.3  | △2.1  | △505,093  | △2.3  | △1.0 | △23,062   |
|          |     | 議席   |            | 0          | (6.05)         | △1         |       |       | 0         |       |      | 0         |

議席からは、自民党および新自由クラブがかなり増加していますので、相対的に保守の議席が非常に増加したわけです。その中でもうひとつ特徴的なことは、他の政党が変動しているのに社会党だけが議席の上では現状を維持している点です。少なくとも数字の傾向からは大変不思議なのですが、これは後で説明する必要があると思います。

参院選は、自民党の場合、衆院選における傾向が同じように出ていて、11議席増加しています。他に民社が2議席増加していますが、民社党はこれで衆院と参院とが相殺になるわけです。あとは、社会党が5議席減、共産党が4議席減がめだっています。衆議院でかなり議席を減らした公明党が参議院では現状をほぼ維持しています。

—— 保守に有利、組織票に限界

このように見てきますと、投票率の上昇は、第一に自民党にもっとも強く、有利に作用したと言えます。その次に社会党および民社党にもわずかであるが有利に作用したと言えます。しかし、一方では組織票の限界、あるいは組織の硬直性が非

常に高まってきています。投票率が上昇すればするほど、その硬直性が明確になっていくという問題も出てきているわけです。特にその硬直度が非常に高いのは共産党と公明党です。

議席が非常に増加したことを今度は得票率で見ますと、自民党の得票率は前回よりも3.3%増加していますが、3.3%が議席で28増とはねかえています。これは投票率が得票率の上昇以上に議席の占有率に反映している問題だろうと思います。これは選挙制度とも関係があるのですが、自民党により有利に作用しています。同じことは社会党にも言えるのですが、社会党は得票率が0.4%下がって、議席は現状を維持しています。これはやはり社会党に有利に作用していると言えると思います。公明党は得票率が0.8%減って、議席は大巾に減少しています。共産党は0.6%下がって、議席にはやはりマイナスに反映しています。これらが今回の選挙の特徴点になるのですが、これは大きな政党ほど、今の選挙制度は有利に作用することの現われだろうと思います。

次に社会党について検討します。衆院選で全体

得票（率）、議席の前回比較

| 社 党  |         | 共 産 党     |      |         |            | 自 民 党 |         |            |      | 新自由クラブ  |            |      | 無所属・その他 |     |     |         |
|------|---------|-----------|------|---------|------------|-------|---------|------------|------|---------|------------|------|---------|-----|-----|---------|
| 得票率  | 絶 対 得票率 | 得 票       | 得票率  | 絶 対 得票率 | 得 票        | 得票率   | 絶 対 得票率 | 得 票        | 得票率  | 絶 対 得票率 | 得 票        | 得票率  | 絶 対 得票率 | 得 票 | 得票率 | 絶 対 得票率 |
| 6.6  | 4.8     | 5,803,613 | 9.8  | 7.2     | 28,262,441 | 47.9  | 34.9    | 1,766,396  | 3.0  | 2.2     | 2,568,967  | 4.4  | 3.2     |     |     |         |
|      |         | 29        |      |         | 284        |       |         | 12         |      |         | 14         |      |         |     |     |         |
| 6.8  | 4.6     | 5,625,527 | 10.4 | 7.0     | 24,084,130 | 44.6  | 30.0    | 1,631,811  | 3.0  | 2.0     | 3,078,825  | 5.7  | 3.8     |     |     |         |
|      |         | 39        |      |         | 248        |       |         | 4          |      |         | 21         |      |         |     |     |         |
| △0.2 | 0.2     | 178,086   | △0.6 | 0.2     | 4,178,311  | 3.3   | 4.9     | 134,585    | 0    | 0.2     | △509,858   | △1.3 | △0.6    |     |     |         |
|      |         | △10       |      |         | 36         |       |         | 8          |      |         | △7         |      |         |     |     |         |
| 5.2  | 3.4     | 6,652,310 | 11.7 | 8.2     | 24,533,082 | 43.3  | 30.3    | 349,989    | 0.6  | 0.4     | 6,714,675  | 11.8 | 8.3     |     |     |         |
|      |         | 4         |      |         | 48         |       |         | 0          |      |         | 6          |      |         |     |     |         |
| 4.5  | 3.0     | 5,159,141 | 9.9  | 6.6     | 20,440,156 | 39.5  | 26.1    | 2,951,975  | 5.7  | 3.8     | 4,319,585  | 8.3  | 5.5     |     |     |         |
|      |         | 2         |      |         | 45         |       |         | 2          |      |         | 3          |      |         |     |     |         |
| 0.7  | 0.4     | 1,493,169 | 1.8  | 1.6     | 4,092,926  | 3.8   | 4.2     | △2,601,986 | △5.1 | △3.4    | 2,395,091  | 3.3  | 2.8     |     |     |         |
|      |         | 2         |      |         | 3          |       |         | △2         |      |         | 3          |      |         |     |     |         |
| 6.0  | 4.2     | 4,071,975 | 7.3  | 5.0     | 23,778,118 | 42.5  | 29.4    | 351,291    | 0.6  | 0.4     | 10,380,366 | 18.6 | 12.8    |     |     |         |
|      |         | 3         |      |         | 21         |       |         | 0          |      |         | 4          |      |         |     |     |         |
| 6.7  | 4.3     | 4,260,049 | 8.4  | 5.4     | 18,160,060 | 35.8  | 23.2    | 1,957,902  | 3.9  | 2.5     | 6,936,962  | 13.7 | 8.9     |     |     |         |
|      |         | 3         |      |         | 18         |       |         | 1          |      |         | 5          |      |         |     |     |         |
| △C.7 | △0.1    | △188,074  | △1.1 | △0.4    | 5,618,058  | 6.7   | 6.2     | △1,606,611 | △3.3 | △2.1    | 3,443,404  | 4.9  | 3.9     |     |     |         |
|      |         | 0         |      |         | 3          |       |         | △1         |      |         | △1         |      |         |     |     |         |

として0.4%得票率を減らしていますが、前回の選挙よりも得票率がかなり上昇したのは、秋田・山梨・長野・奈良・鳥取・島根・愛媛などです。逆に低下が著しいのは、宮城・山形・福島・富山・福井・京都・香川・高知・熊本・大分・宮崎です。地域によりかなりでこぼこがありますが、やはり全体として低下している所が多いように感じます。特に西の方でかなり落ちていることが判ります。

### 3. 自民党大勝の3つの要因

自民党の大勝の原因をどのように見るかですが、だいたい大きく分けて三つの視点から検討できると思います。

#### ① 自民党側の要因

##### 保守票掘起し、大平死去

第一は自民党側の原因です。これは三つ考えられます。ひとつは同時選挙をしかけた戦術的效果で、自民党内の激しかった派閥抗争を一挙に停止させ、それぞれの派閥の候補者が競って保守票を「掘り起す」という自民党特有の運動パターンによって、野党を圧倒したこと、とくに参院選の野党協力を混乱させた効果は非常に大きかったと思います。

ふたつめは、大平首相の死去を自民党はかなり有効に利用したことです。それは日本人特有の感情を刺激し、政策争点をボカシてしまいました。同時に、世代交代論を打出したことも争点ボカシに有効だったと思います。

問題の構造汚職では、これは3番目ですが、トカゲのシッポ切りのようなことを行って、これもマイナスイメージをぼかすことにある程度成功しています。このトカゲのシッポ切り問題は有権者側の問題とも関係があります。だいたいこれらの3点が自民党側の原因として考えられます。

#### ② 野党側の要因

##### 未熟な連合構想・足の引っっぱりあい

次に野党側の原因の問題ですが、何と言っても野党連合の構想が未熟だったことが指摘できます。これは御承知のように、解散一総選挙になった時点から、にわかに野党連合が非常にクローズアップされるようになったのです。野党連合は、自民党内部の対立との関係で、より一層可能性として現実性をおびてきたと考えられていました。しかし、本来野党連合はまず参院選での選挙協力、次いで近く予想された総選挙で逆転することをねらいとして考えられたものです。しかもそれには、さまざまなレベルで連合の実績が必要だったのです。それを欠いたまま、しかも選挙では社会党に対する左右の批判、つまり共産党と民社党のかなり厳しい批判が加えられていたのが、むしろ野党連合の不可能さ、あるいは不安定さを強調していく結果になった気がします。

野党連合は地域レベル（革新首長選）で実際に行われてきたということが我々の側からも主張されましたが、しかしこれはかならずしも充分な意味での連合ではなかった。むしろそれは崩れつつあるのです。このことは革新自治体に対する総括で、改めて取り上げる必要のある問題だと思います。何よりもやはり労働組合運動や地域レベルの住民共闘での連合の実態が、運動レベルで十分に成熟していないことが基本的な問題だと思います。そのような連合構想、または連合の実態の未熟さが同時選挙をしかけられたことでかなり混乱した事実があるだろうと思います。

次の問題としては、今度の選挙にあたって態勢を組む時間的余裕がなかったことがあります。この点により組織票の限界を非常にはっきり露呈したことが言えると思います。特に社会党について言えば、組織票の限界をある程度カバーして、とにかく得票率でも、あるいは議席数でもあまり後退を示さなかったことは、やはり投票率の上昇が社会党にとっても有利に作用したからです。つまり組織票と無党派がある程度社会党の支持にまわっ



たことがあると思います。以上のようなことが野党側の原因と考えられます。

### ③有権者側の要因 前途への不安感・平衡感覚

第三に有権者側の原因として考えられることは、基本的にはやはり80年代の前途に対する不安感があります。その不安感と高度成長時代の経済的な繁栄—生活のレベルが向上したという実感が忘れられない、いわゆる中流意識が今度の選挙では保守の支持にまわったことが指摘できると思います。そのことは、生活の中心的担い手である30才台後半から50才台にかけての人々の自民党支持率が都市部で非常に上昇していることが新聞の調査で指摘されています。だから、従来は都市部は多党化が進んで自民党支持率は、たとえば神奈川では4分の1の支持率しかない、それが一般的になってきたこれまでの傾向からすれば、自民党への批判が減るだろうと予想していましたが、やはりそのようになりました。

つまり、政治的な価値、たとえば民主主義、あるいは民主主義的な政党政治的な価値よりも経済的な価値の方が優先しているという傾向があったのではないだろうか。私はむしろ今まで経済的な価値を中心に都市部における生活、あるいは日本人の生活は回転していたと考えますが、今日のような政党政治の非民主制、つまり政権の交代がないという非民主制、あるいは政治的腐敗への批判となって現われる、経済的な価値から政治的な価値への有権者の意識の変化を期待したのですが、それはかならずしも充分には変化しなかったわけです。

#### —— 問題の多い農村型投票構造

次は、農村型投票構造が依然として選挙の結果に大きな影響を与えていることです。これは投票が人間関係を軸に行われる集票組織、一方でその集票組織が利益誘導のパイプでもあるわけですが、その集票組織にかかわって投票する人々の場合、そこでは政治倫理は余り問題になりません。これは、市民が孤立していたり、あるいは自立しているような都市部ではなくて、充分に自立して

図1. 70年代の総選挙・党派別絶対得票率

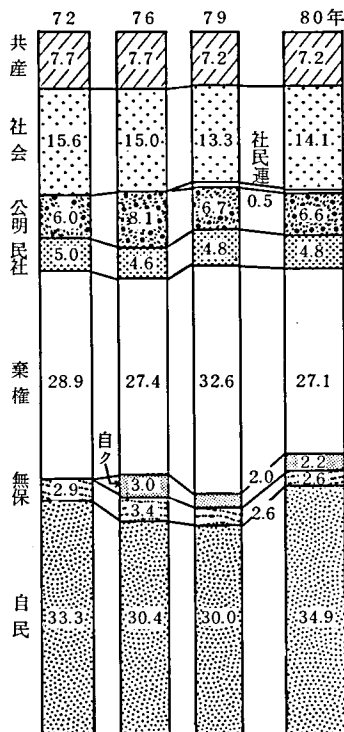
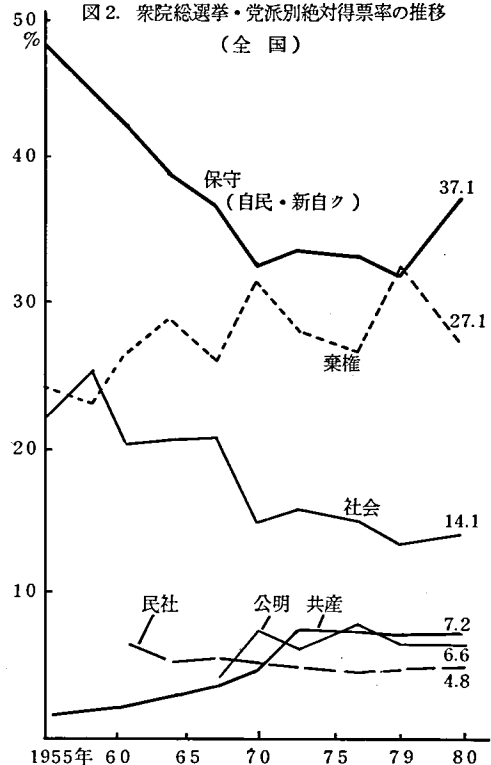


図2. 衆院総選挙・党派別絶対得票率の推移 (全国)



いない人々の集団である農村型の社会で顕著に現われてくる現象ではないかと考えます。これは選挙制度とも関連して、農村型の投票行動の持つ動きが自民党にプラスに作用してきました。

第3は、これまで棄権する割合の非常に大きいと言われてきた無党派の20才台、若い世代がかなり自民党支持にまわったことが指摘されています。

第4には、大平首相の死去が政治倫理や政策争点をかなりぼけさせた傾向があります。非常に投票率を上昇させた有権者の関心が、一体今度の選挙の場合どこにむけられたのか最後まで余りはっきりしないので、つまりかなり漠然とした保守支持だと言えます。これは新聞の大平死去の扱い方、スペース、時間など、つまりかなりマスコミは大平首相の死去を大きく取り上げていた傾向があるのではないのでしょうか。もちろん、これだけが原因ではありません。ただ、政策争点が非常に不明確になっていたことだけは言えると思います。これは野党の側にも問題があると思います。

注目すべき無党派層のうごき

最後に、今度の選挙でもうひとつ有権者側の動

きの中で見られた現象は、自民党に飽き足りない保守支持層が新自由クラブにまわったと考えられるのです。しかし、たとえば東京7区から住民運動出身の菅直人が当選したことにてている無党派層の動き、これは参院選で見れば市川、美濃部、青島、中山というところに結集していった層だと考えられるのです。これらの有権者の動きが若干今度の選挙にある種の新鮮味を与えたことは言えると思います。ついでに無党派について言いますと、投票率が著しく上昇したことは、参院選の全国区の場合には当選に必要な票数を引き上げたのですが、しかし、タレント候補たちが大量に得票したことは、社会党の候補者である柏谷や和田は助かっています。この人たちがこれほど得票しませんと、もう少し最低の当選ラインは上昇してくるはずで、その意味では大量得票がプラスに作用したと言えるだろうと思います。まだ指摘したいことはたくさんありますが、序論を申しあげて後は各論で検討したいと思います。

(この原稿は、後掲の座談会での冒頭、横山教授の問題提起を編集部でまとめたもので、文責は編集者にあります。)

表2 衆参両院の党派別当選者数

| 衆院新勢力  | 衆院 (定数511) |     |    |    |            |    | 参院 地方区 |   |    |           |    | 参院 全国区 |   |    |                  |     | 非改選数 | 参院新勢力 |
|--------|------------|-----|----|----|------------|----|--------|---|----|-----------|----|--------|---|----|------------------|-----|------|-------|
|        | 計          | 前   | 元  | 新  | 解散時        | 計  | 現      | 元 | 新  | 改選数       | 計  | 現      | 元 | 新  | 改選数              |     |      |       |
| 286 自民 | 284        | 240 | 26 | 18 | 258        | 48 | 35     | 0 | 13 | 44        | 21 | 11     | 0 | 10 | 14               | 66  | 135  |       |
| 107 社会 | 107        | 87  | 13 | 7  | 107        | 13 | 10     | 0 | 3  | 17        | 9  | 8      | 0 | 1  | 10               | 25  | 47   |       |
| 34 公明  | 33         | 32  | 1  | 0  | 58         | 3  | 3      | 0 | 0  | 5         | 9  | 6      | 0 | 3  | 9                | 14  | 27   |       |
| 33 民社  | 32         | 32  | 0  | 0  | 36         | 2  | 1      | 0 | 1  | 1         | 3  | 2      | 0 | 1  | 3                | 6   | 11   |       |
| 29 共産  | 29         | 27  | 0  | 2  | 41         | 4  | 4      | 0 | 0  | 5         | 3  | 2      | 1 | 0  | 6                | 5   | 12   |       |
| 12 新自ク | 12         | 4   | 4  | 4  | 4          | 0  | 0      | 0 | 0  | 0         | 0  | 0      | 0 | 0  | 0                | 2   | 2    |       |
| 3 社民連  | 3          | 2   | 0  | 1  | 2          | 0  | 0      | 0 | 0  | 0         | 1  | 1      | 0 | 0  | 1                | 2   | 3    |       |
| 0 諸派   | 0          | 0   | 0  | 0  | 0          | 1  | 1      | 0 | 0  | 1         | 1  | 0      | 0 | 1  | 0                | 0   | 2    |       |
| 7 無所属  | 11         | 6   | 2  | 3  | 4          | 5  | 1      | 0 | 4  | 2         | 3  | 2      | 0 | 1  | 3                | 5   | 13   |       |
| 511 計  | 511        | 430 | 46 | 35 | 欠員1<br>511 | 76 | 55     | 0 | 21 | 欠員1<br>76 | 50 | 32     | 1 | 17 | 欠員4<br>欠員1<br>50 | 125 | 251  |       |

(うち婦人9)

(衆院新勢力の自民には追加公認の2を、公明、民社には「推薦」各1を含む。無所属7には自民の追加公認を受ける可能性の強いもの2のほか保守系5を含む)

(うち婦人は地方区3、全国区6)

(参院地方区の無所属は中道系2、自民系、保守系、革新系各1。諸派1は革新系。なお、全国区の諸派1、無所属3はいずれも革新系、民社は全国区で当選後死亡したため、社民連がくりあげ当選となったことを含めている)



# 衆・参ダブル選挙を 社会党はどう闘ったか

自治研かながわ月報編集部

司会 本日はお忙しいところお集りいただきありがとうございます。今の横山先生のお話をふまえて、6月22日の衆議院・参議院の同時選挙をふりかえてみたいと思います。今回の同時選挙は、史上初めての、つまり同じ日が投票日になった選挙でした。5月17日に社会党がイニシアチブをとって不信任案が成立したことによって、大平首相の衆議院解散一総選挙となって、これまでに経験しなかった同時選挙となりました。今日はその特徴や意義をお話願いたと思います。

## 1. 同時選挙の体制づくりは…

Aさん 率直に言ってね、不信任案を受けて直ちに行動を開始した所もあるが、私は大変なことになったとも感じました。

Bさん 私が解散直後に候補者に会った印象では、皆さんやはり大変なことになったという受けとり方があったように思います。

Cさん 私は参院選全国区の集会で聞いたのですが、社会党の提案による全野党の結集で、それも本当に久々に結集したので、大変な事態になったという思いとともに、我々には社会党のヘゲモニーで解散したのだからという自信がありましたね。

Dさん 5月17日の不信任案の成立前に、参院選の体制は着々と作られていたので、衆院選対はそれに乗っかっただけで、大変だという受けとり方は余りなかった。

Cさん 大変だ、大変だと言っても同時選挙が大

変であり、時間的余裕がないのはどこの党も同じですよ。今度の争いは党レベルの競争の中で、主体的力量の強弱のはっきり現われる競争でもあったと思います。その意味で体制づくりをどうするのかは、どこの党でも同じで真価が問われると直感的に思いました。

Bさん ここで考えなければいけないと思うのは自民党は権力を持っているので、時間がなければいけません。自民党には有利だということです。社会党が主導権をとって大平首相は不信任となったが、「非武装中立棚上論」は一般的に誤解されて受けとられていたように思う。水をかけられた感じがあったね。

Dさん 同時選挙のためだが、参院地方区独自の選対は余り組めず、県内6地区の選対があっても、衆院選挙中心だったね。全国区は各単産毎で動いており、地方区選対をどう作るかが悩みだったと思います。

Fさん 結果としての票で見ると、神奈川では衆院と参院ではちゃんと体制上ものっかっていたね。東京はひどかったよ、衆院選対は参議院を全然のせていなかったね。

Cさん 神奈川の場合問題があるにしろ衆・参がセットされていて、しかも参議院地方区は衆議院よりも上回ってとれました。つまり同時選挙になる以前は市本部・地区協方式をとっていたが、3区・5区は余り準備がからずに移行できました。問題はね、やはりのっかった参院選対だね。形の上では参院選対は存在したが、実際には衆院に比重がかかっていたよ。

## 2. 参院地方区の勝因は…

司会 それで思うのですが、不信任案以前の参院選対は組織化が大変だったということですね。社会党の場合、全国区は産別の労働組合中心で、ほとんど地方区には組織らしい組織はつかなかったですね。それでも前回より減少したとはいえ、社会党の地方区の票が衆院の5人より多いのはどういう理由からでしょうか。

Aさん その辺は、ひとつは候補者が少なかったこと、つまり公明がでなかったことがありますよ。それに社会党県本部がそれぞれの衆院選対をかなりきつくしめたことが大きいと思います。

Fさん 私は中小零細企業とも接触していますが、その支持は6年前より多かったですね。それに、6年前は自民や共産が強くてかなりの苦戦をしい

られました。当時の飛鳥田市長の勢力的な動きで80万票余をとりました。

Cさん 今回は2万票差で公民連合の候補に勝ったが、やはり同時選挙で各政党が混乱していたことが大きな要因としてあると思いますね。その中でも公民共闘は大混乱を起したが、その同時選挙による混乱を最小限にしたのが社会党だったのではないのでしょうか。

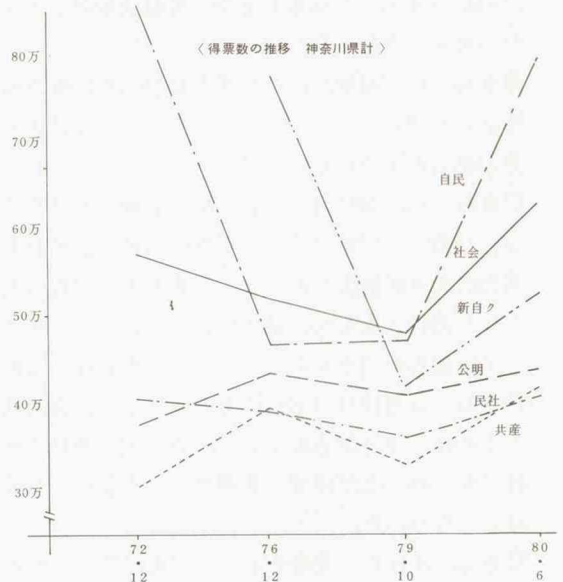
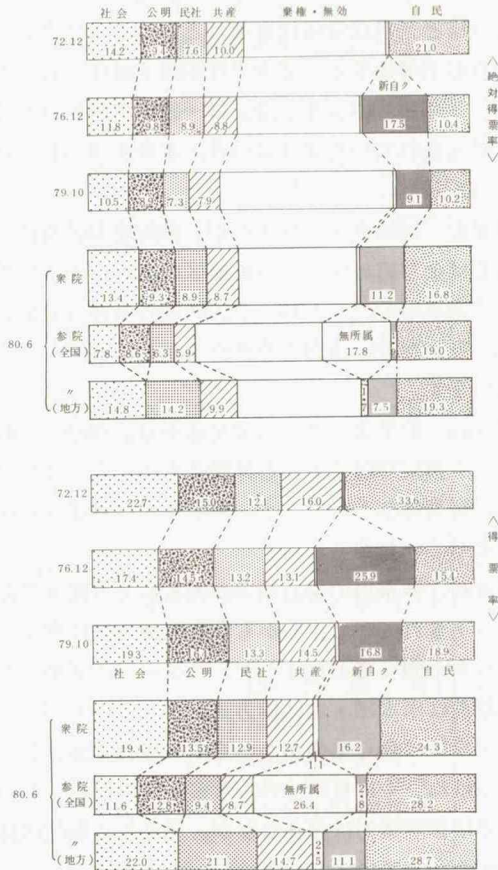
Aさん 私の見るかぎりでは、3区・5区で公民共闘は完全にくずれましたが、衆参の関係でいくと、公明は「3点セット（衆院・参院全国区・参院地方区）」は無理で、2点までだと言われていましたよ。

Dさん 社会党は6年前の地方区選対ほどには体制を組めなかったが、公民側のミスもあって、2万数千票差で当選しました。

Aさん それに政策上の問題として、公民連合と言っても、政策は民社党の政策であり、連合を通して何か県民にうたえるものがなかったと思います。社会党の場合は、税金や国民的諸課題あるいは地域毎にその地域に応じた、たとえば相模原では住宅問題をとりあげたりしました。中心的には物価・経済問題をとりあげましたが、県民にアピールしたといえると思います。

Bさん 公民連合のマイナス面もあったのですが、3年後の参院選を総合的に考えると、社公民で行くことは同様にかなり不利な条件が考えられます

衆院選投票率の推移（神奈川県計）



ね。

Dさん 次の3年後はすでに射程内に入っていますし、今回をふまえた公民の反撃が予想されます。もっと厳しい選挙になるのではないのでしょうか。今回、公明・民社は選挙に負けたが、実績はあがったわけですからね。

### 3. 参院全国区はどうだったか

司会 社会党の全国区候補者は10名で、そのうち9名が当選しました。神奈川に割当てられた3人のうち、3-5区の候補は中位で当選しましたが、あとの2名は49, 50位とスレスレ当選でしたね。これはどうしてなんですか。

Bさん 全国区は神奈川もそうですが全国的にも大きく票を減している。神奈川で10万票、全国で

も実に150万票も減っているわけです。候補者が前回の12名に対して今回は10名で、候補者数の減少以上に票を減しているのは深刻に考えなければいけないと思います。

Aさん 特に同時選挙で有権者に組織的にアピールするとき、衆院と参院地方区はセットできても全国区はできない。全国区は全国区だけの選挙になっています。全国区の制度のあり方と、選挙体制そのものを完全地域割りの方向で検討しなければ、ダメですね。

Fさん さきほど横山先生の指摘のように、社会党支持層でも市川・美濃部・青島・中山などに大きくながれているわけで、この大量得票によって救われた面もあるのかも知れません。

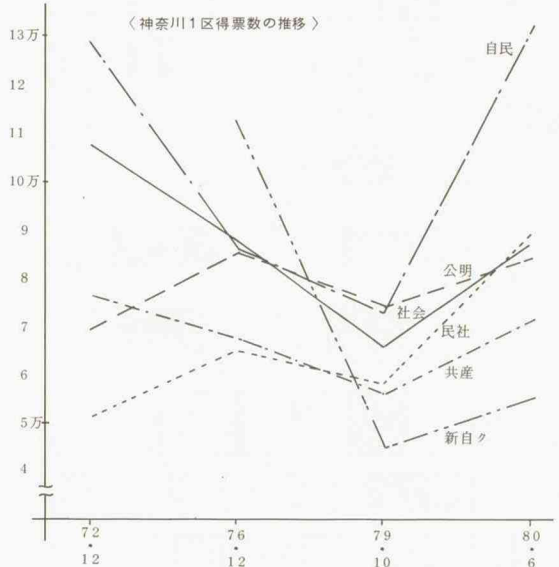
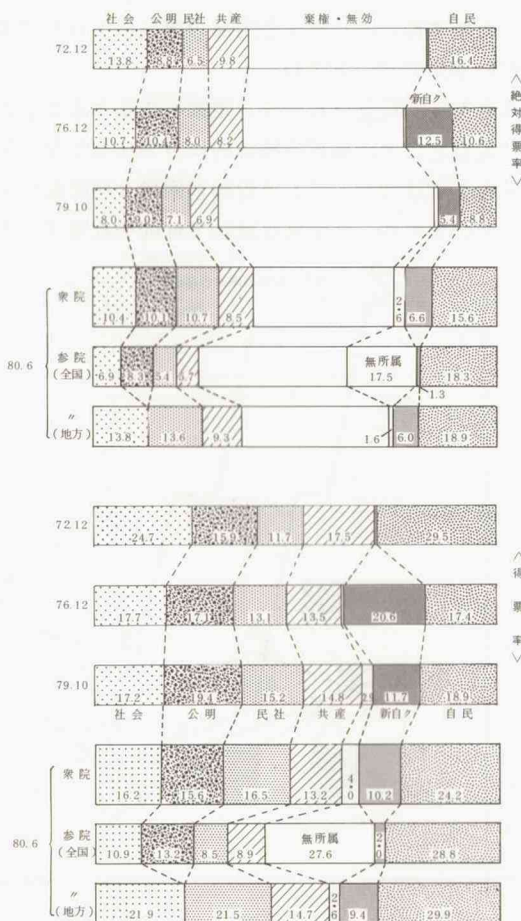
Dさん 神奈川の重点候補のほか、自治労と日教組の候補で、西日本の重点候補の票がそれぞれ約2万票づつ出ていますね。これはどういう現象なんですか。

Eさん 組合員の中にあまり知られていなかったのか、テレビに国会質問でよく出た西の候補者が知られていたためかな。

Aさん 世論調査の結果で西の候補が弱いというのでテコ入れした面もあるのでしょうか。

Fさん 自治労の西日本の候補者には自治労以外の票が入っていると思いますね。それと現場でやっているよね、地域割りの問題もあるが、実際にはかなりやりづらいですね。

衆院選得票率の推移〈神奈川1区〉



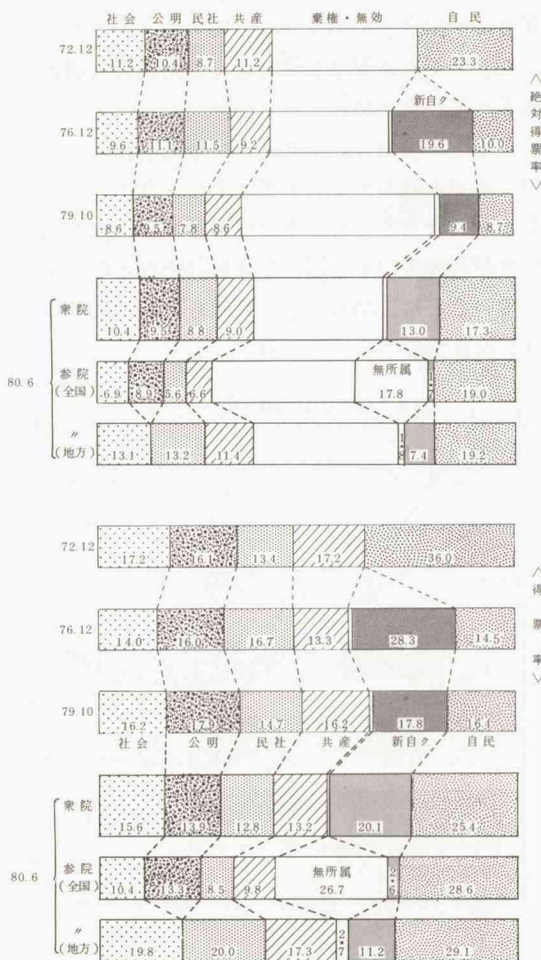


**Bさん** 今気づいたのですがね、和田、野田の合計票が6年前とほぼ同じであるのは、有権者増や投票率上昇を考えると、自治労候補の比重は相対的に下がってきているのではないのでしょうか。他の候補の場合はどうでしょうね。

**司会** これは調べてみますと、全体的な傾向であり、やはり落ち込んでいますね。これまで地域割一たて割を併用してきたが、その限界ではないでしょうか。

**Dさん** 組織的に1区～5区を見ますと、1区がかなり弱かったと言えるのではないのでしょうか。横浜市には4区と1区がありますが、問題の一番ある所に割り当てられたようですね。自治労組合員の数では、4区は圧倒的に多いですね。それに1区では市会・県会議員との結合にも問題があったようですね。

神奈川2区



#### 4. 自民党大勝の原因は…

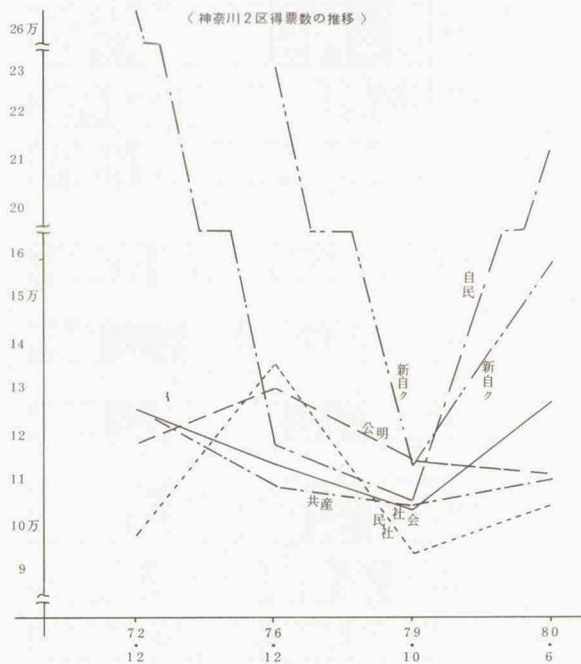
**司会** 自民党の大勝についてですが、私は率直に言ってあんなに勝つとは予想もしなかったですね。

**Cさん** 私もね、これ程に圧勝するとは思わなかったですよ。

**Dさん** やはり、これは大平首相の死去による大平ショックということで弔い合戦の空気があり、自民党の運動の士気はあがっていたので勝利するのではという予想はありました。

**Bさん** やはり国民の中に、野党連合論について、どう政治が変わるのか判らないという不安感があったと思います。それと、大平首相の死去により、自民党内の派閥抗争が終息しましたね。それに伴う保守のまきかえしがありましたね。公明党は、野党連合のリーダーシップをとろうとしていると見なされ、国民の反感をかってマイナス効果となったですね。それに学会内部の要因により公明はなげが生じていますね。

**Aさん** 民社党は自衛隊肯定論を主張することで、自民党との連合構想を具体的に打ち出したが、票そのものは増加しても絶対得票率は公明に似かよっていますね。共産党は敵前で仲間を攻撃するよ



うな他党批判ばかりやっていたので、国民的感情として受け入れられなかったのではないのでしょうか。

**Cさん** やはり、野党内部の泥試合により有権者の中に不信感が生まれましたね。ピラといえば他党への批判・中傷しかなく、連合政権に必要な「よりましたな政府」の内容がすっとなでまわってしまいましたね。国民には野党が連合することで何ができるのか判らなかったと思いますね。

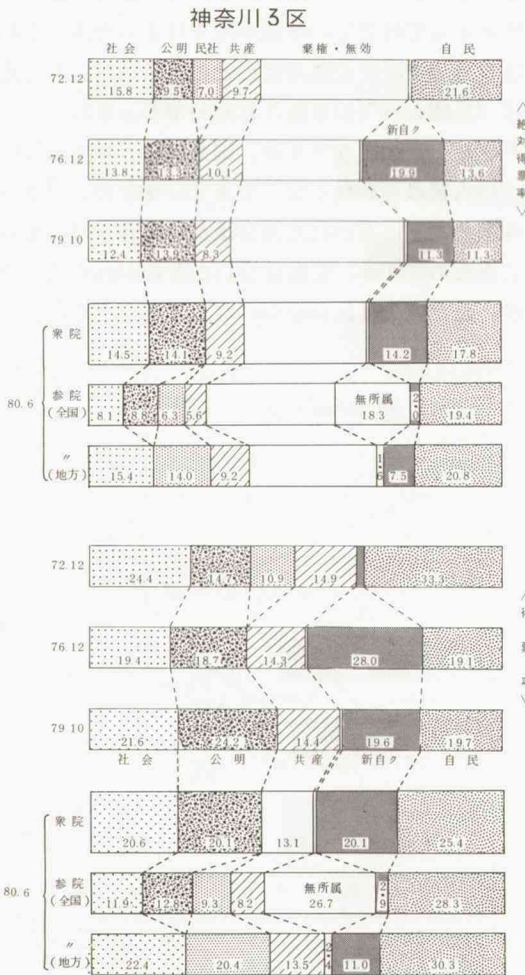
**Fさん** 野党連合といっても、院内でも地域でも時間をかけてやったという実績はなかったですね。つまり連合構想に必要な具体的政策を打出していなかったと思いますね。連合は、つまり、選挙技術でしかなかったんですね。社公民や社共の共闘は地域レベルでこれまでもやられていたのになぜ国政でできなかったのでしょうか。

**Bさん** それはですね、これまでの共闘は、地域

レベルの共闘と言っても、それは首長選挙での連合でしかなかった。首長選挙を闘い取るために野党連合が組まれるケースよりも、2期、3期の革新自治体を持続していく過程で組まれたケースが多かったですね。つまり共闘と言っても、内容や政策レベルはつめられていなかったと言えますね。また、連合の組み方は地域でバラバラでした。地域における運動レベルで共同行動が積み重ねられていなかったことが、そのまま国政レベルに反映したのではないのでしょうか。

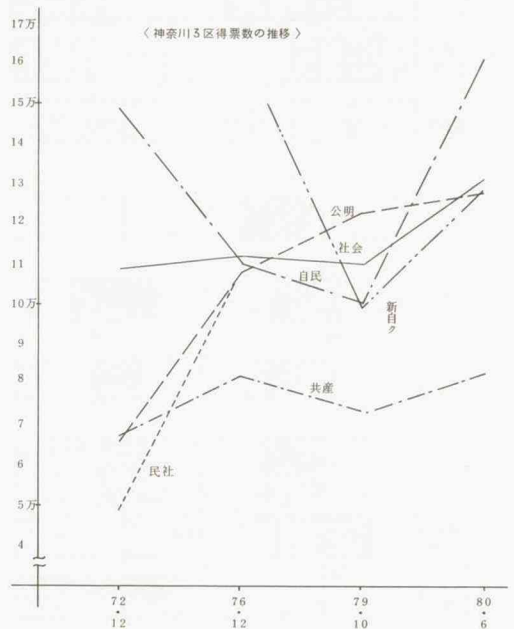
**Aさん** やっぱり国民の中にも、政党にも野党連合そのものにとまどいがあったのではないのでしょうか。「地方から中央を包囲する」というスローガンがくずれかけている所に、上から合意ということで社公連合をかぶせたのですからね。

## 5. 衆院選の結果は



司会 次に神奈川の衆院選に議論をすすめます。自民、社会が各5名づつという結果についてはどうですか。

**Fさん** 神奈川レベルで言えば、新55年体制が言われていますね。これは神奈川新聞が「昭和55年」から付けたのですが、長洲体制の反映でもあるのではないのでしょうか。やはり、神奈川県民には平





衡感覚があると言えるのではないのでしょうか。それに今回の選挙から民社の企業選挙の限界も指摘できると思いますね。投票率が高まれば高まる程に、企業選挙の限界が明らかになってきたのではないのでしょうか。

**Cさん** 得票率で見ますと、今回は4区・5区は72年以降では最高の得票率ですね。5区の場合は、前回得票率が悪すぎたですね。平林は前回700票の差で負けたが、しかし得票は伸ばしましたね。ここで言えることは、要になる党の機能が重要だということですね。党と組合の結合は定着・前進しているのではないのでしょうか。

**Fさん** 今回、同盟・民社に勝ったと言えるのではないかと思います。中小零細企業に対する社会党の政策は遅れていますね。不安（連合への）から保守に流れた人たちは相当いるのではないのでしょうか。しかし民社の票は横浜では72年から倍

増えていますね。

**Aさん** 要は今回の結果をふり返って見て組織労働者対策と中小零細企業対策をどうするかが問われているのではないのでしょうか。それに関連して地区労の強化が重要だと思いますね。

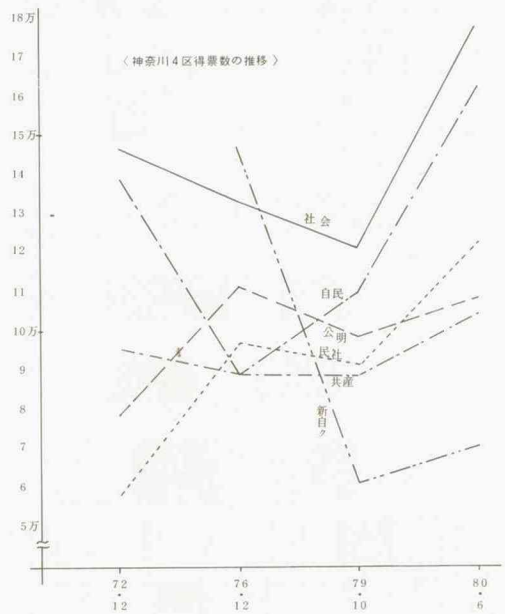
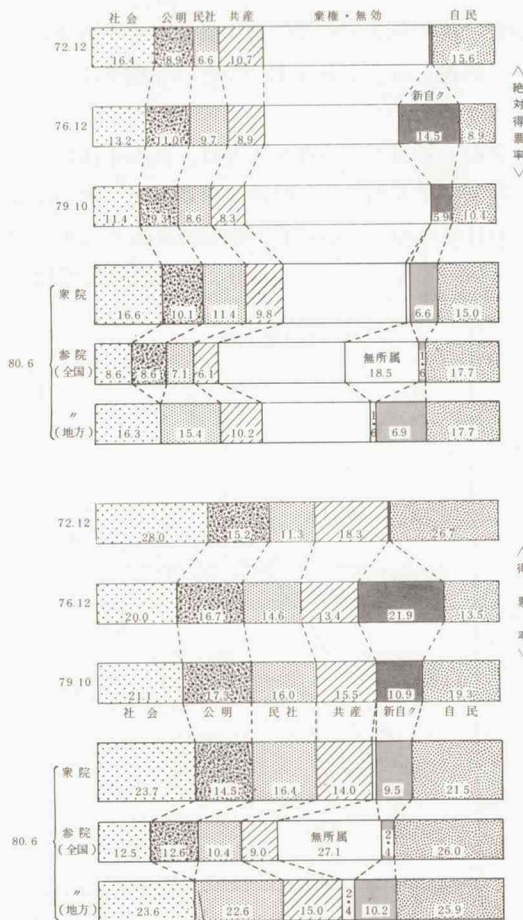
**Cさん** 鶴見区では社会党は共産党に負けて5番目ですが、そのような地域で地区労をどう強化するかが問題ですね。その意味で、神奈川における、3区・5区という地区労組織のしっかりした所と、1区・4区という都市部の間の問題は、全国レベルの都市部と非都市部の間の問題として一般的に比較できるのではないのでしょうか。これまでとも言われていますが、決定的な課題は大都市住民への対策をどうするかではないのでしょうかね。

**Dさん** 神奈川の衆院の結果を見てみますと、72年以来保守（76年以降の新自由クラブを入れて）・社会ともに絶対得票率は伸びていますね。

**Cさん** 2区で見れば、民社党と共産党の追い上げによって社会党の陣営が固まりましたよ。これは自分の実績を売込んだのと、日常活動、たとえば“月曜の声”が評価されたのでしょうね。

**Fさん** 別の問題ですが、国会議員と地方議員の活動内容に差がなくなってきていますね。つまり神様のように言われた国会議員の虚像がなくなってきたのですが、これは良いことではないのでしょうか。ただ国会議員が小型になってきたとも言える

### 神奈川4区



のではないのでしょうか。

**Bさん** これは60年以降の中央集権の地域開発とも関連していると思いますね。

**Fさん** それと地元に戻らない国会議員も見受けられますが、地元活動で組織と後援会を大事にするのは言うまでもなく重要ですね。

**Bさん** そこで思うのですが、議員の虚像がなくなり、つまり実務的になったのは良いが、実務的になればなるほど権力政党には有利であると言えらると思います。当然にも社会党が政権をとるための運動があるはずですね。

## 6. 今後の課題と展望

**司会** さて、色々な意見が出たところで、今後の課題と展望ですが、これまでに地区労や党組織の

強化の話が出ましたね。もう少し具体的にお話を聞かせてもらえたらと思います。

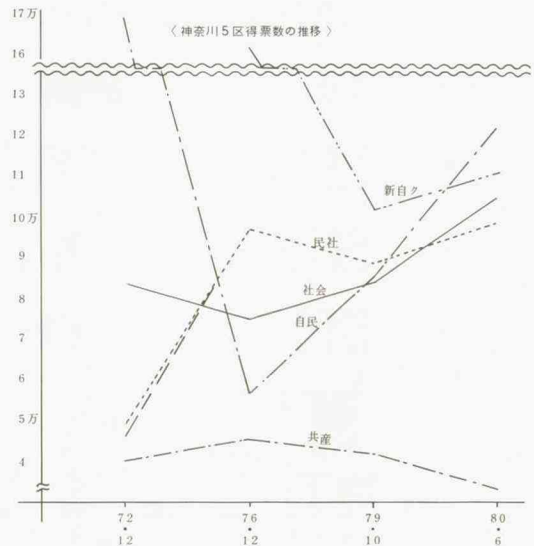
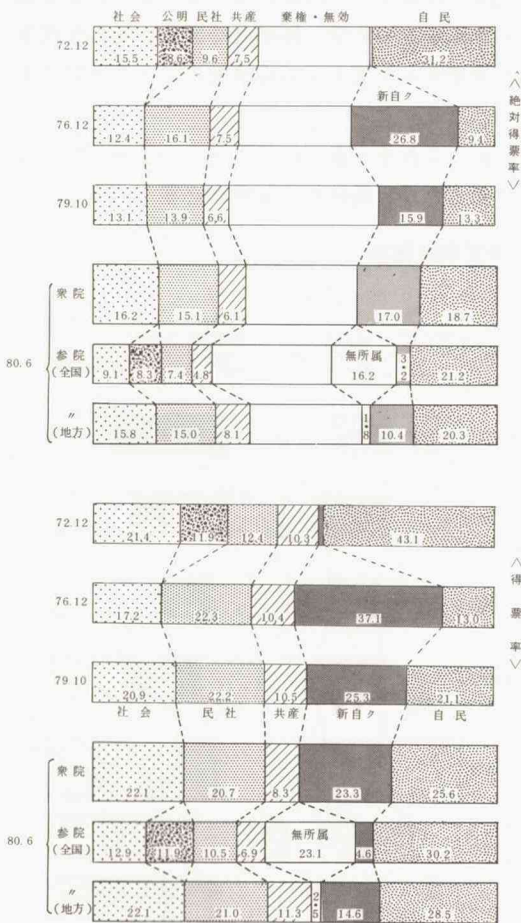
**Aさん** 地域への働きかけが大切ではないでしょうか。地域居住の組合員の活動把握や住民運動との結合、地区自治研ということでこちらから手をさしのべる必要があるのではないかと思います。

**Cさん** 大衆運動の不足が指摘されていますが、どうやって大衆運動を構築し広めていくのかが問われていますね。まさに80年代の状況の中での運動の模索ですね。

**Dさん** 70年代に社会党は現実的対応ということで、国会において75%程度法案を支持してきましたね。この「現実的な」政策だけで長期低落への歯止めはかけられてこないのではないのでしょうか。自民党がこの選挙で大勝しましたが、この変化した状況をふまえて、党の指導力をきちんとしていく必要がありますね。非武装中立論でも誤解を与えないようにしなければならいでしょう。それに加え、これはよく指摘されるが、長洲県政に変わってからは、公共料金値上げで津田知事の頃は反対していたのに今は賛成していますね。なぜそのようなになっているのか説明しなければならいと思いますね。

**Aさん** 今は言われているような地方の時代でなく依然として中央の時代だから、自民大勝で県政にも影響が出てくるのではないのでしょうか。今後の動向を正確に把握して闘いをきちんとしていか

### 神奈川県 5区





なければならぬでしょう。

**Fさん** 私が思うことは、陳情をする時、70年頃までは陳情を持って役所に出かけて行っていました。今はそれを電話ですませていますね。役人と電話で話がつくようになり、そのことにあまんじているのではないのでしょうか。つまり議員が足をはこばなくなっているんですね。

**司会** 議員心理としてはあるでしょうが、陳情する人たちの目の前で電話で頼んでOKという話を議員から聞くよりも、市民としては自ら参加して実感をつかんで戻るのが必要ですね。そのことは地元に戻ると当然エネルギーになるんですよ。参加の時代と言っているながら、その実態がなく、逆の方向になっている傾向があるのではないのでしょうか。自民党議員は大勢の陳情団をつれて行き、目の前で頼むことをやっていますよ。ひとつのセレモニーとしても組織を強化し、大衆運動を組織するために必要ではないのでしょうか。

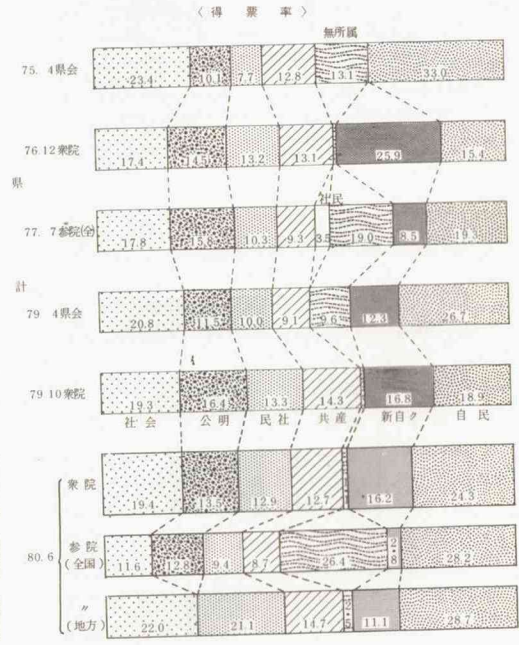
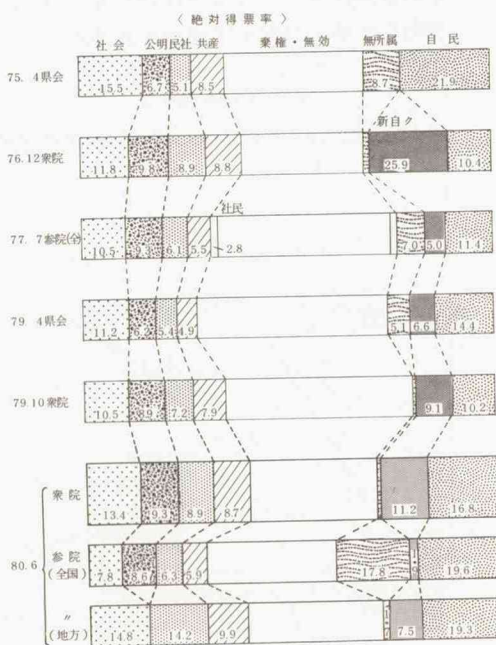
**Bさん** 結果論ではありますが、砂上の楼閣である野党連合にすぐに飛びついた問題がありますね。そして自民の大勝により改ためて保守の強さを思い知らされました。そこで何をどうするのかという特効薬はありません。結局いつも言われていますが、日常活動をどう強化するのが問題ですね。

それは組合員の社会党離れをどうするのかである。つまり、これらは前から、成田さんの頃から言われているわけですね。言葉を変えて言えば、政治活動の重要性でもありますね。今回の同時選挙を自民党は不安定な要因で勝ちました。結局のところ自民党が勝った決定的要因はみつからないのです。野党側の内部的原因で地すべりのように勝利しました。でも自民党が低落に歯止めをかけてこれから上昇するとは言えないことを意味します。つまり、財政・物価というような諸政策が争われていないんです。今後、争点が鮮明になった時、自民の対応は力の政治ではないのでしょうか。長期的な見通しの中で、最初に言ったように、連合政権は今後ますます現実的になります。その趨勢に向けて社会党が何をするのか、地域で何をやるか、組合で何をやるのかが問われていると思います。

**Aさん** 私、現場で率直に思うんですが、社会党は労働者がおかしいと思うことをやらないで、大衆運動を作ることではないのでしょうか。選挙で結集した人々から入党一組織化を図り、そして次期地方選で失った議席を回復させることだと思いますね。

**Fさん** これまで我々は共産党から攻撃されるばかりだったが、具体的に反撃が必要な時期にきて

### 75年以降各種選挙の政党別得票率の推移



いると思いますね。

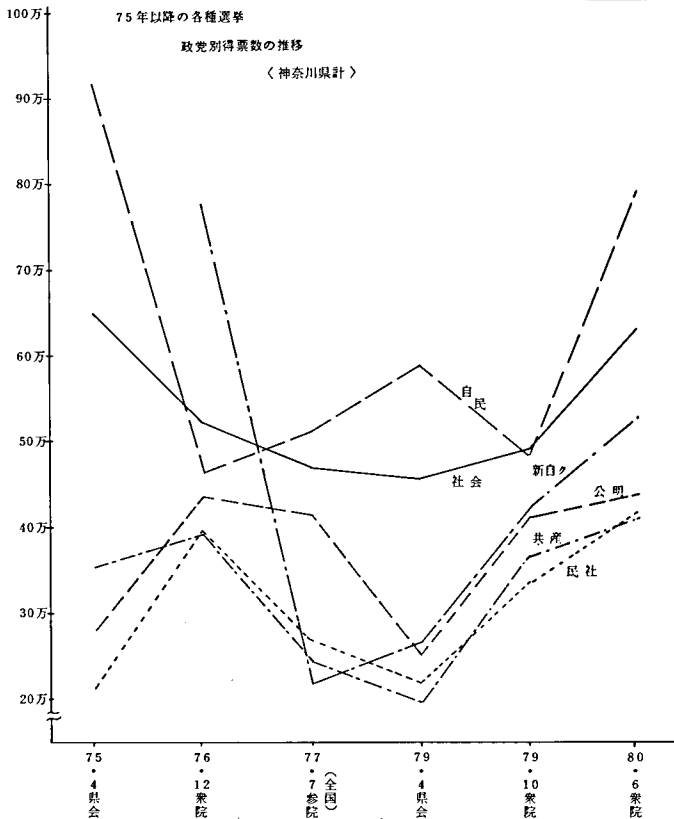
Dさん それは、連合政権を成立させるのに熱心な余り、言いたいことを言わずに他党から言われっぱなしだったからではないでしょうか。政策・理論を具体的な運動のレベルで提起していくことですね。それなしに本当の主体性の確立はありえないのではないのでしょうか。そして単なる組合活動でなく、組合員が参加した大衆路線を作る必要があるのではないのでしょうか。それを作る中で民間主導の労働戦線統一の動きに歯止めをかけ、社会党総評ブロックを強化していくことができるのではないのでしょうか。

司会 今回の同時選挙をふり返って、色々な特徴や問題点が指摘されたと思います。地域における活動は前進している側面とともに、日常活動の不足という言葉に表わされていますように、これまで指摘されてきた基本的な問題もまだまだあると感じました。この話を参考として、今後の活動に生かしていきたいと思います。今日はこの辺で終わりたいと思います。ありがとうございました。

表3 [参院選全国区の本県得票数]

(○は当選, ×は落選)

|   |         |   |    |    |   |   |    |    |
|---|---------|---|----|----|---|---|----|----|
| ① | 353,217 | ○ | 鈴木 | 木中 | 一 | 弘 | (公 | 明) |
| ② | 233,532 | ○ | 山市 | 川  | 郁 | 子 | (共 | 産) |
| ③ | 206,063 | ○ | 市  | 洲  | 房 | 枝 | (無 | 所) |
| ④ | 193,341 | ○ | 田  | 島  | 哲 | 也 | (民 | 社) |
| ⑤ | 179,070 | ○ | 青  | 幸  | 幸 | 男 | (無 | 所) |
| ⑥ | 129,156 | ○ | 嶋  | 威  | 一 | 郎 | (自 | 民) |
| ⑦ | 108,490 | ○ | 中  | 千  | 郎 | 夏 | (諸 | 派) |
| ⑧ | 104,019 | ○ | 美  | 亮  | 吉 | 吉 | (無 | 所) |
| ⑨ | 87,705  | × | 濃  | 啓  | 啓 | 美 | (自 | 所) |
| ⑩ | 83,998  | × | 中  | コ  | ピ | ア | (無 | 所) |
| ⑪ | 78,782  | ○ | 柏  | 谷  | 間 | 照 | (社 | 会) |
| ⑫ | 76,058  | ○ | 福  | 沢  | 智 | 智 | (社 | 会) |
| ⑬ | 74,506  | ○ | 田  | 宮  | 田 | 輝 | (自 | 民) |
| ⑭ | 71,402  | ○ | 源  | 山  | 田 | 実 | (自 | 民) |
| ⑮ | 70,514  | ○ | 山  | 源  | 山 | 子 | (自 | 民) |
| ⑯ | 69,073  | ○ | 山  | 山  | 口 | 淑 | (自 | 民) |
| ⑰ | 57,121  | ○ | 和  | 藤  | 東 | 静 | (社 | 会) |
| ⑱ | 56,583  | ○ | 齊  | 藤  | 三 | 三 | (自 | 民) |
| ⑲ | 56,363  | ○ | 山  | 東  | 昭 | 昭 | (自 | 民) |
| ⑳ | 53,200  | ○ | 伊  | 藤  | 昭 | 昭 | (自 | 民) |
| ㉑ | 43,967  | ○ | 伊  | 東  | 昭 | 昭 | (民 | 社) |
| ㉒ | 35,773  | ○ | 鈴  | 藤  | 昭 | 昭 | (民 | 社) |
| ㉓ | 35,650  | ○ | 板  | 木  | 和 | 和 | (自 | 民) |
| ㉔ | 34,215  | ○ | 向  | 垣  | 和 | 和 | (自 | 民) |
| ㉕ | 33,347  | ○ | 青  | 口  | 長 | 長 | (民 | 社) |
| ㉖ | 30,902  | × | 梶  | 井  | 木 | 木 | (無 | 所) |
| ㉗ | 30,140  | ○ | 井  | 木  | 原 | 原 | (自 | 民) |
| ㉘ | 28,238  | ○ | 井  | 原  | 上 | 上 | (自 | 民) |
| ㉙ | 28,096  | ○ | 大  | 河  | 原 | 原 | (自 | 民) |
| ㉚ | 26,331  | ○ | 村  | 上  | 太 | 正 | (自 | 民) |



## 横浜演劇研究所

史上初のダブル選挙戦の最中、横浜福富町のネオン街の一角にある横浜演劇研究所を訪れた。公団アパートの一階に設けられた事務所（資料室、けい古場含む）は、思っていたほど広くなく、全国から収集された図書や資料が所狭しと並べられており、今にも押し潰されそうな状態であった。演劇について全くと言ってよいほど、予備知識のないままに、取材を行うことに戸惑う我々を常勤の2名と、所長の加藤衛氏が心よく迎え入れてくださった。

まず、研究所を始めたいきさつから伺ったところ、「その前に、日本の演劇状況についてお話ししましょう」という加藤所長の表情には演劇一節の情熱と人生の年輪が刻み込まれている。「例えば、ドイツなどでは、何処の都市へ行っても、常設劇場があり、そこで常時、芝居を上演しているから、市民は何処に住んでいても、芝居を身近なものとして楽しめる。このように職業演劇が定着している状況では、市民の側にも自分達で芝居を作ってみたいという意欲がわいてくるわけです。」「つまり、本当の演劇のあり様とは、職業演劇を日常的に楽しむための施設の整備と、市民が自分達で芝居を作る楽しみを持つアマチュア演劇が並行して存在することだと思います。」

では日本の場合はどうなのだろう。

「極端な言い方をすれば、東京にしか職業演劇がないと言えるでしょう。従って、職業演劇を日常的に楽しむという機会が全国的に非常に少ないというのが、日本の演劇状況です。だから、アマチュア演劇についても、市民が関心を余り持っていないということもあり、たとえ出来ても基盤がないために、なかなか発展しないのです。」と、所

長の説明は、憤まんやる方ないという様子。

確かに、文化の中心は中央にあり、地方にはなかなか及んでいないと言えそうだ。文化行政における“地方の時代”が到来すべきであり、各自治体段階での試みをもっと活発に行われてしかるべきであろう。

こうした文化的基盤の整っていない中で、研究所の活動は開始した。

横浜演劇研究所は昭和27年（1952年）8月17日に創設された。

加藤所長は28年の歳月を振り返りながら、万感の思いをこめて語ってくださった。

「戦後、私は、これでようやく市民が自由に演劇活動ができると期待し、演劇的要求が一遍に噴き出しましたが、これを継続していくためには、地域なり、学校なりで演劇への関心が整っていなければならなかったわけですが、実際には、一般市民の関心は割合に少なかったのです。」「そこで、まず一般市民の演劇への関心を高める必要に迫られました。それには、全国のアマチュア演劇を活発にし、それが全国に定着することによって、市民の演劇への関心が高まり、やがて職業演劇が楽しめる状況ができるのではないかと期待したのです。」と語る。

所長は、以前は個人的に俳優座や大学等で、演劇指導に携わっていたが、それぞれバラバラに活動していたいくつかの演劇に関するグループを一つにまとめて、この研究所を作るに至ったという。

では、何故、単なる劇団という形にしないで、おそらく日本で唯一の研究所というシステムにしたのだろうか。

「アマチュア劇団は2・3年たつと、家庭の事

情とか、飽きとかで、フーッと消えてしまいます。できては潰れ、できては潰れというのがアマチュア劇団の運命みたいなものなんです。これでは、いつまでたっても、アマチュア演劇が一般市民社会に根を下ろすことができません。ですから、私達自身が演劇活動をやると共に、一般市民に啓蒙的な、つまり“演劇とは何だ”ということを知って貰うような活動を合わせてやらなければならないでしょう。そのためには、私達自身で資料を収集し、それらを印刷して、方々へ配布することにより、“演劇とは何であるか”を知って貰う必要があるわけです。」

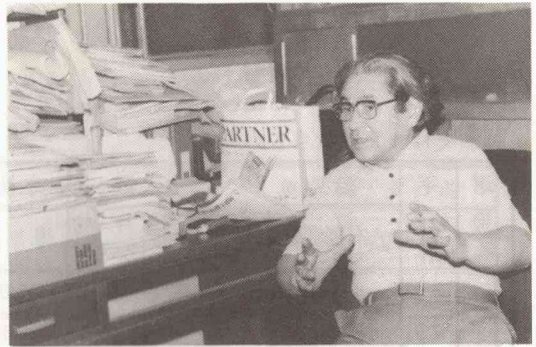
### 幅広い活動する研究所のしくみ

それではここで、研究所の具体的な活動内容を見てみよう。

この研究所の活動は、図のように5つの部門から成り立っている。

このようなシステムで、加藤所長、2名の専従者を初め、所員各自が任務分担をしている。

尚、日本アマチュア・青少年文化団体協議会、全日本アマチュア演劇協議会、日本アマチュア演劇連盟等の事務局も担当。所員は20～50才代まで巾広く、約40名が登録されている。一応人間関係



は定着しているが、資金面での息詰まりが、目下最大の悩みとか。

また、フォルクスビューネ会員は、現在600～700名（会場は1,000名収容可能）居るが、新規加入者を大いに望むところである。

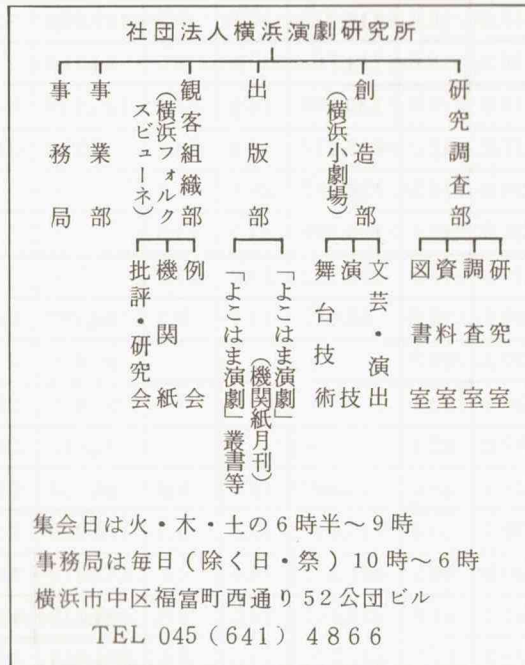
ところで、アマチュア演劇を「社会的」仕事と定義づけている所以はどこにあるのだろうか。アマチュア演劇と職業演劇の違いを聞きながら、探ってみることにした。

「アマチュア演劇を職業演劇の前段階としてとらえるのは間違いです。プロは訓練を充分にやり、そこから能力を要求されることにより社会的意味を持つが、アマチュアは、まず市民の意欲と誠実さが求められます。単なるお遊びではなく、演劇を通して社会に影響を与える、つまり技術的にへたであっても、観客に何らかの感動を与えてくれるものです。それだけでアマチュア演劇としての意味は果たせるわけです。観客と一緒に何かを考え、あるいは共通のものを確認し合うことです。」と所長は熱っぽく語ってくれた。

日本人の悪癖だろうか。確かに、演劇に関わらずあらゆる領域で、素人ということで馬鹿にするという権威主義がはびこっている。

アマチュア演劇をも含め、演劇が市民の日常生活の一部として楽しまれるには、まだまだ時間がかかりそうである。

この神奈川において、県政の文化の象徴であるべき「県民ホール」が、そうした社会状況を物語っていると思えてならないのだが……。





〔資料I〕

## 衆院選党派別

| 選挙区              | 年<br>度 | 総 数       |           |            | 社 会 党   |      |            | 公 明 党   |      |            | 民 社     |      |
|------------------|--------|-----------|-----------|------------|---------|------|------------|---------|------|------------|---------|------|
|                  |        | A有権者数     | B有効投票     | 有 効<br>投票率 | 得 票     | 得票率  | 絶 对<br>得票率 | 得 票     | 得票率  | 絶 对<br>得票率 | 得 票     | 得票率  |
| 一<br>区           | 80     | 836,150   | 538,925   | 64.5       | 87,094  | 16.2 | 10.4       | 84,155  | 15.6 | 10.1       | 89,125  | 16.5 |
|                  | 79     | 829,924   | 386,082   | 46.5       | 66,198  | 17.2 | 8.0        | 74,863  | 19.4 | 9.0        | 58,568  | 15.2 |
|                  | 76     | 816,846   | 496,840   | 60.8       | 87,790  | 17.7 | 10.7       | 85,040  | 17.1 | 10.4       | 64,982  | 13.1 |
|                  | 72     | 783,943   | 436,654   | 55.7       | 107,806 | 24.7 | 13.8       | 69,374  | 15.9 | 8.8        | 51,150  | 11.7 |
| 四<br>区           | 80     | 1,067,327 | 744,887   | 69.8       | 176,792 | 23.7 | 16.6       | 108,210 | 14.5 | 10.1       | 122,139 | 16.4 |
|                  | 79     | 1,057,487 | 569,590   | 53.9       | 120,285 | 21.1 | 11.4       | 98,317  | 17.3 | 9.3        | 91,227  | 16.0 |
|                  | 76     | 1,003,315 | 663,459   | 66.1       | 132,473 | 20.0 | 13.2       | 110,497 | 16.7 | 11.0       | 96,829  | 14.6 |
|                  | 72     | 885,300   | 519,017   | 58.6       | 145,414 | 28.0 | 16.4       | 78,876  | 15.2 | 8.9        | 58,486  | 11.3 |
| 横<br>浜<br>市<br>計 | 80     | 1,903,477 | 1,283,812 | 67.4       | 263,886 | 20.6 | 13.9       | 192,365 | 15.0 | 10.1       | 211,264 | 16.5 |
|                  | 79     | 1,887,411 | 955,672   | 50.6       | 186,483 | 19.5 | 9.9        | 173,180 | 18.1 | 9.2        | 149,795 | 15.7 |
|                  | 76     | 1,820,162 | 1,160,299 | 63.7       | 221,263 | 19.1 | 12.2       | 195,537 | 16.9 | 10.7       | 161,811 | 13.9 |
|                  | 72     | 1,673,243 | 955,671   | 57.1       | 253,223 | 26.5 | 15.1       | 148,250 | 15.5 | 8.9        | 109,636 | 11.5 |
| 川<br>崎<br>市<br>計 | 80     | 714,034   | 475,318   | 66.6       | 78,479  | 16.5 | 11.0       | 76,030  | 16.0 | 10.6       | 53,248  | 11.2 |
|                  | 79     | 707,825   | 360,866   | 51.0       | 65,750  | 17.7 | 9.3        | 73,722  | 20.4 | 10.4       | 45,886  | 12.7 |
|                  | 76     | 693,096   | 462,199   | 66.7       | 71,318  | 15.4 | 10.3       | 85,225  | 18.4 | 12.3       | 70,318  | 15.2 |
|                  | 72     | 672,825   | 415,003   | 61.7       | 81,362  | 19.6 | 12.1       | 78,859  | 19.0 | 11.7       | 47,878  | 11.5 |
| 二<br>区           | 80     | 1,226,037 | 838,687   | 68.4       | 127,275 | 15.6 | 10.4       | 116,213 | 13.9 | 9.5        | 107,532 | 12.8 |
|                  | 79     | 1,213,076 | 641,913   | 52.9       | 103,856 | 16.2 | 8.6        | 114,768 | 17.9 | 9.5        | 94,240  | 14.7 |
|                  | 76     | 1,177,661 | 813,830   | 69.1       | 113,615 | 14.0 | 9.6        | 130,298 | 16.0 | 11.1       | 135,658 | 16.7 |
|                  | 72     | 1,122,170 | 727,180   | 64.8       | 125,221 | 17.2 | 11.2       | 117,213 | 16.1 | 10.4       | 97,572  | 13.4 |
| 三<br>区           | 80     | 907,918   | 638,850   | 70.4       | 131,889 | 20.6 | 14.5       | 128,067 | 20.1 | 14.1       | —       | —    |
|                  | 79     | 887,634   | 510,590   | 57.5       | 110,137 | 21.6 | 12.4       | 123,389 | 24.2 | 13.9       | —       | —    |
|                  | 76     | 815,719   | 578,180   | 70.9       | 112,209 | 19.4 | 13.8       | 108,182 | 18.7 | 13.3       | —       | —    |
|                  | 72     | 694,910   | 449,614   | 64.7       | 109,771 | 24.4 | 15.8       | 65,987  | 14.7 | 9.5        | 48,982  | 10.9 |
| 五<br>区           | 80     | 648,094   | 474,113   | 73.2       | 104,838 | 22.1 | 16.2       | —       | —    | —          | 98,126  | 20.7 |
|                  | 79     | 635,509   | 399,330   | 62.8       | 83,517  | 20.9 | 13.1       | —       | —    | —          | 88,439  | 22.2 |
|                  | 76     | 600,156   | 433,979   | 72.3       | 74,633  | 17.2 | 12.4       | —       | —    | —          | 96,649  | 22.3 |
|                  | 72     | 537,522   | 389,375   | 72.4       | 83,173  | 21.4 | 15.5       | 46,310  | 11.9 | 8.6        | 48,454  | 12.4 |
| 県<br>計           | 80     | 4,685,526 | 3,235,462 | 69.1       | 627,888 | 19.4 | 13.4       | 436,645 | 13.5 | 9.3        | 416,922 | 12.9 |
|                  | 79     | 4,623,630 | 2,507,457 | 54.2       | 483,993 | 19.3 | 10.5       | 411,337 | 16.4 | 8.9        | 332,474 | 13.3 |
|                  | 76     | 4,413,694 | 2,986,288 | 67.7       | 520,720 | 17.4 | 11.8       | 434,017 | 14.5 | 9.8        | 394,118 | 13.2 |
|                  | 72     | 4,027,845 | 2,521,840 | 62.6       | 571,388 | 22.7 | 14.2       | 377,760 | 15.0 | 9.4        | 304,644 | 12.1 |

# 得票の推移

神奈川県地方自治研究センター

| 党 | 共産党   |         |      | 自民党   |         |      | 新自由クラブ |         |      | 無所属・その他 |        |     |       |
|---|-------|---------|------|-------|---------|------|--------|---------|------|---------|--------|-----|-------|
|   | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率  | 得票      | 得票率  | 絶対得票率   | 得票     | 得票率 | 絶対得票率 |
|   | 10.7  | 71,356  | 13.2 | 8.5   | 130,553 | 24.2 | 15.6   | 55,096  | 10.2 | 6.6     | 21,546 | 4.0 | 2.6   |
|   | 7.1   | 56,987  | 14.8 | 6.9   | 73,134  | 18.9 | 8.8    | 45,185  | 11.7 | 5.4     | 11,147 | 2.9 | 1.3   |
|   | 8.0   | 67,133  | 13.5 | 8.2   | 86,685  | 17.4 | 10.6   | 102,390 | 20.6 | 12.5    | 2,820  | 0.6 | 0.3   |
|   | 6.5   | 76,615  | 17.5 | 9.8   | 128,851 | 29.5 | 16.4   | -       | -    | -       | 2,856  | 0.7 | 0.4   |
|   | 11.4  | 104,195 | 14.0 | 9.8   | 160,423 | 21.5 | 15.0   | 70,392  | 9.5  | 6.6     | 2,736  | 0.4 | 0.3   |
|   | 8.6   | 88,018  | 15.5 | 8.3   | 109,800 | 19.3 | 10.4   | 61,943  | 10.9 | 5.9     | -      | -   | -     |
|   | 9.7   | 88,880  | 13.4 | 8.9   | 89,324  | 13.5 | 8.9    | 145,455 | 21.9 | 14.5    | -      | -   | -     |
|   | 6.6   | 95,008  | 18.3 | 10.7  | 138,348 | 26.7 | 15.6   | -       | -    | -       | 2,885  | 0.6 | 0.3   |
|   | 11.1  | 175,551 | 13.7 | 9.2   | 290,976 | 22.7 | 15.3   | 125,488 | 9.8  | 6.6     | 24,282 | 1.9 | 1.3   |
|   | 7.9   | 145,005 | 15.1 | 7.7   | 182,934 | 19.1 | 9.7    | 107,128 | 11.2 | 5.6     | 11,147 | 1.2 | 0.6   |
|   | 8.9   | 156,013 | 13.4 | 8.6   | 176,009 | 15.2 | 9.7    | 247,846 | 21.4 | 13.6    | 2,820  | 0.2 | 0.1   |
|   | 6.6   | 171,623 | 18.0 | 10.3  | 267,198 | 28.0 | 16.0   | -       | -    | -       | 5,741  | 0.6 | 0.3   |
|   | 7.5   | 76,501  | 16.1 | 10.7  | 117,068 | 24.6 | 16.4   | 70,227  | 14.8 | 9.8     | 3,765  | 0.8 | 0.5   |
|   | 6.5   | 71,319  | 19.8 | 10.1  | 51,094  | 14.2 | 7.2    | 51,598  | 14.3 | 7.3     | 3,497  | 1.0 | 0.5   |
|   | 10.1  | 74,501  | 16.1 | 10.7  | 55,544  | 12.0 | 8.0    | 101,593 | 22.0 | 14.7    | 3,219  | 0.7 | 0.5   |
|   | 7.1   | 88,496  | 21.3 | 13.1  | 118,408 | 28.5 | 17.6   | -       | -    | -       | -      | -   | -     |
|   | 8.8   | 110,879 | 13.2 | 9.0   | 212,085 | 25.3 | 17.3   | 159,183 | 19.0 | 13.0    | 5,520  | 0.7 | 0.5   |
|   | 7.8   | 104,246 | 16.2 | 8.6   | 105,125 | 16.4 | 8.7    | 113,977 | 17.8 | 9.4     | 5,701  | 0.9 | 0.5   |
|   | 11.5  | 107,999 | 13.3 | 9.2   | 117,698 | 14.5 | 10.0   | 230,647 | 28.3 | 19.6    | 4,915  | 0.6 | 0.4   |
|   | 8.7   | 125,177 | 17.2 | 11.2  | 261,997 | 36.0 | 23.3   | -       | -    | -       | -      | -   | -     |
|   |       | 83,793  | 13.1 | 9.2   | 162,054 | 25.4 | 17.8   | 128,587 | 20.1 | 14.2    | 4,460  | 0.7 | 0.5   |
|   |       | 73,433  | 14.4 | 8.3   | 100,682 | 19.7 | 11.3   | 99,936  | 19.6 | 11.3    | 2,965  | 0.6 | 0.3   |
|   |       | 82,525  | 14.3 | 10.1  | 110,585 | 19.1 | 13.6   | 162,029 | 28.0 | 19.9    | 2,650  | 0.5 | 0.3   |
|   | 7.0   | 67,133  | 14.9 | 9.7   | 149,832 | 33.3 | 21.6   | -       | -    | -       | 7,909  | 1.8 | 1.1   |
|   | 15.1  | 39,387  | 8.3  | 6.1   | 121,494 | 25.6 | 18.7   | 110,268 | 23.3 | 17.0    | -      | -   | -     |
|   | 13.9  | 41,963  | 10.5 | 6.6   | 84,234  | 21.1 | 13.3   | 101,177 | 25.3 | 15.9    | -      | -   | -     |
|   | 16.1  | 45,107  | 10.4 | 7.5   | 56,509  | 13.0 | 9.4    | 161,081 | 37.1 | 26.8    | -      | -   | -     |
|   | 9.0   | 40,112  | 10.3 | 7.5   | 167,832 | 43.1 | 31.2   | -       | -    | -       | 3,494  | 0.9 | 0.7   |
|   | 8.9   | 409,610 | 12.7 | 8.7   | 786,609 | 24.3 | 16.8   | 523,526 | 16.2 | 11.2    | 34,262 | 1.1 | 0.7   |
|   | 7.2   | 364,647 | 14.5 | 7.9   | 472,975 | 18.9 | 10.2   | 422,218 | 16.8 | 9.1     | 19,606 | 1.1 | 0.4   |
|   | 8.9   | 391,644 | 13.1 | 8.8   | 460,801 | 15.4 | 10.4   | 774,603 | 25.9 | 17.5    | 10,385 | 0.3 | 0.2   |
|   | 7.6   | 404,045 | 16.0 | 10.0  | 846,859 | 33.6 | 21.0   | -       | -    | -       | 17,144 | 0.7 | 0.4   |

〔資料Ⅱ〕

## 参院選党派別得票の比較表

神奈川県地方自治研究センター

| 選挙区  | 種別  | 年  | 総数        |           |       | 社会党     |      |       | 公明党     |      |       | 民社党     |      |       | 共産党     |      |       | 自民党       |      |       | 新自由クラブ  |      |       | 無所属・その他 |      |       |
|------|-----|----|-----------|-----------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|-----------|------|-------|---------|------|-------|---------|------|-------|
|      |     |    | 有権者数      | 有効投票      | 有効投票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票        | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 | 得票      | 得票率  | 絶対得票率 |
| 一 区  | 地方区 | 77 | 817,238   | 454,253   | 55.6  | 104,051 | 22.9 | 12.7  | -       | -    | -     | 92,977  | 20.5 | 11.4  | 61,760  | 13.6 | 7.6   | 179,609   | 39.5 | 22.0  | -       | -    | -     | 15,856  | 3.4  | 1.9   |
|      |     | 80 | 836,150   | 527,895   | 63.1  | 115,581 | 21.9 | 13.8  | -       | -    | -     | 113,634 | 21.5 | 13.6  | 77,592  | 14.7 | 9.3   | 157,659   | 29.9 | 18.9  | 49,812  | 9.4  | 6.0   | 13,617  | 2.6  | 1.6   |
|      | 全国区 | 77 | 817,238   | 454,887   | 55.7  | 78,866  | 17.3 | 9.7   | 75,581  | 16.6 | 9.2   | 41,212  | 9.0  | 5.0   | 45,153  | 9.9  | 5.5   | 91,427    | 20.1 | 11.2  | 36,040  | 7.9  | 4.4   | 86,592  | 19.0 | 10.6  |
|      |     | 80 | 836,150   | 529,961   | 63.4  | 57,873  | 10.9 | 6.9   | 69,795  | 13.2 | 8.3   | 45,194  | 8.5  | 5.4   | 47,403  | 8.9  | 5.7   | 152,830   | 28.8 | 18.3  | 10,441  | 2.0  | 1.3   | 146,415 | 27.6 | 17.5  |
| 四 区  | 地方区 | 77 | 1,017,040 | 608,662   | 59.8  | 158,322 | 26.0 | 15.6  | -       | -    | -     | 129,011 | 21.2 | 12.7  | 82,013  | 13.5 | 8.1   | 220,375   | 36.2 | 21.7  | -       | -    | -     | 18,941  | 3.1  | 1.9   |
|      |     | 80 | 1,067,327 | 726,226   | 68.0  | 173,715 | 23.9 | 16.3  | -       | -    | -     | 163,963 | 22.6 | 15.4  | 109,244 | 15.0 | 10.2  | 188,420   | 25.9 | 17.7  | 73,799  | 10.2 | 6.9   | 17,085  | 2.4  | 1.6   |
|      | 全国区 | 77 | 1,017,040 | 609,879   | 60.0  | 116,308 | 19.1 | 11.4  | 95,461  | 15.7 | 9.4   | 73,188  | 12.0 | 7.2   | 57,619  | 9.4  | 5.7   | 100,661   | 16.5 | 9.9   | 48,348  | 7.9  | 4.8   | 117,455 | 19.3 | 11.5  |
|      |     | 80 | 1,067,327 | 729,308   | 68.3  | 91,452  | 12.5 | 8.6   | 91,882  | 12.6 | 8.6   | 76,112  | 10.4 | 7.1   | 65,515  | 9.0  | 6.1   | 189,346   | 26.0 | 17.7  | 17,219  | 2.4  | 1.6   | 197,769 | 27.1 | 18.5  |
| 横浜市計 | 地方区 | 77 | 1,834,278 | 1,062,915 | 57.9  | 262,372 | 24.7 | 14.3  | -       | -    | -     | 221,988 | 20.9 | 12.1  | 143,773 | 13.5 | 7.8   | 399,984   | 37.6 | 21.8  | -       | -    | -     | 34,797  | 3.3  | 1.9   |
|      |     | 80 | 1,903,477 | 1,254,121 | 65.9  | 289,296 | 23.1 | 15.2  | -       | -    | -     | 277,597 | 22.1 | 14.6  | 186,836 | 14.9 | 9.8   | 346,079   | 27.6 | 18.2  | 123,611 | 9.9  | 6.5   | 30,702  | 2.4  | 1.6   |
|      | 全国区 | 77 | 1,834,278 | 1,064,779 | 58.0  | 195,181 | 18.3 | 10.6  | 171,051 | 16.1 | 9.3   | 114,407 | 10.7 | 6.2   | 102,779 | 9.7  | 5.6   | 192,093   | 18.0 | 10.5  | 84,395  | 7.9  | 4.6   | 204,869 | 19.2 | 11.2  |
|      |     | 80 | 1,903,477 | 1,259,282 | 66.3  | 149,330 | 11.9 | 7.8   | 161,684 | 12.8 | 8.5   | 121,306 | 9.6  | 6.4   | 112,920 | 9.0  | 5.9   | 342,184   | 27.2 | 18.0  | 27,660  | 2.2  | 1.5   | 344,197 | 27.3 | 18.1  |
| 川崎市計 | 地方区 | 77 | 696,838   | 407,588   | 58.5  | 90,589  | 22.2 | 13.0  | -       | -    | -     | 70,735  | 17.4 | 10.2  | 72,823  | 17.9 | 10.5  | 155,820   | 38.2 | 22.4  | -       | -    | -     | 17,621  | 4.3  | 2.5   |
|      |     | 80 | 714,034   | 462,751   | 64.8  | 96,038  | 20.8 | 13.5  | -       | -    | -     | 83,521  | 18.1 | 11.7  | 92,900  | 20.1 | 13.0  | 134,016   | 29.0 | 18.8  | 43,344  | 9.4  | 6.1   | 12,932  | 2.4  | 1.6   |
|      | 全国区 | 77 | 696,838   | 410,548   | 58.9  | 72,965  | 17.8 | 10.5  | 75,593  | 18.4 | 10.8  | 24,393  | 5.9  | 3.5   | 52,023  | 12.7 | 7.5   | 74,540    | 18.2 | 10.7  | 27,689  | 6.7  | 4.0   | 83,342  | 20.3 | 12.0  |
|      |     | 80 | 714,034   | 465,275   | 65.2  | 48,692  | 10.5 | 6.8   | 70,438  | 15.1 | 9.9   | 27,284  | 5.9  | 3.8   | 55,503  | 11.9 | 7.8   | 122,618   | 26.4 | 17.2  | 9,706   | 2.1  | 1.4   | 131,032 | 28.2 | 18.4  |
| 二 区  | 地方区 | 77 | 1,186,031 | 686,815   | 57.9  | 144,382 | 21.0 | 12.2  | -       | -    | -     | 131,443 | 19.1 | 11.1  | 104,403 | 15.2 | 8.8   | 279,128   | 40.6 | 23.5  | -       | -    | -     | 27,459  | 4.0  | 2.3   |
|      |     | 80 | 1,226,037 | 810,734   | 66.1  | 160,830 | 19.8 | 13.1  | -       | -    | -     | 162,173 | 20.0 | 13.2  | 139,768 | 17.2 | 11.4  | 235,520   | 29.1 | 19.2  | 90,612  | 11.2 | 7.4   | 21,831  | 2.7  | 1.8   |
|      | 全国区 | 77 | 1,186,031 | 690,132   | 58.2  | 115,188 | 16.7 | 9.7   | 114,574 | 16.6 | 9.7   | 61,380  | 8.9  | 5.2   | 72,678  | 10.5 | 6.1   | 138,314   | 20.0 | 11.7  | 48,472  | 7.0  | 4.1   | 139,493 | 20.2 | 11.8  |
|      |     | 80 | 1,226,037 | 815,835   | 66.5  | 84,796  | 10.4 | 6.9   | 108,854 | 13.3 | 8.9   | 69,180  | 8.5  | 5.6   | 80,316  | 9.8  | 6.6   | 233,545   | 28.6 | 19.0  | 21,306  | 2.6  | 1.7   | 217,833 | 26.7 | 17.8  |
| 三 区  | 地方区 | 77 | 828,032   | 496,958   | 60.0  | 111,448 | 22.4 | 13.5  | -       | -    | -     | 93,832  | 18.9 | 11.3  | 59,574  | 12.0 | 7.2   | 215,797   | 43.5 | 26.1  | -       | -    | -     | 16,307  | 3.3  | 2.0   |
|      |     | 80 | 907,918   | 623,074   | 68.6  | 139,659 | 22.4 | 15.4  | -       | -    | -     | 127,247 | 20.4 | 14.0  | 83,951  | 13.5 | 9.2   | 188,826   | 30.3 | 20.8  | 68,395  | 11.0 | 7.5   | 14,996  | 2.4  | 1.6   |
|      | 全国区 | 77 | 828,032   | 495,164   | 59.8  | 89,514  | 18.1 | 10.8  | 77,693  | 15.7 | 9.4   | 50,938  | 10.3 | 6.2   | 41,823  | 8.4  | 5.1   | 94,165    | 19.0 | 11.4  | 50,890  | 10.3 | 6.1   | 90,112  | 18.2 | 10.9  |
|      |     | 80 | 907,918   | 621,865   | 68.5  | 73,748  | 11.9 | 8.1   | 79,615  | 12.8 | 8.8   | 57,835  | 9.3  | 6.3   | 50,774  | 8.2  | 5.6   | 175,763   | 28.3 | 19.4  | 17,996  | 2.9  | 2.0   | 166,120 | 26.7 | 18.3  |
| 五 区  | 地方区 | 77 | 605,482   | 382,960   | 64.3  | 74,806  | 19.5 | 12.4  | -       | -    | -     | 71,009  | 18.5 | 11.7  | 36,489  | 9.5  | 6.0   | 191,603   | 50.0 | 31.6  | -       | -    | -     | 9,053   | 2.4  | 1.5   |
|      |     | 80 | 648,094   | 462,573   | 71.4  | 102,315 | 22.1 | 15.8  | -       | -    | -     | 97,150  | 21.0 | 15.0  | 52,198  | 11.3 | 8.1   | 131,745   | 28.5 | 20.3  | 67,371  | 14.6 | 10.4  | 11,793  | 2.5  | 1.8   |
|      | 全国区 | 77 | 605,482   | 375,158   | 62.0  | 68,243  | 18.2 | 11.3  | 51,915  | 13.4 | 8.6   | 42,984  | 11.5 | 7.1   | 26,550  | 7.1  | 4.4   | 82,663    | 22.0 | 13.7  | 40,627  | 10.8 | 6.7   | 62,143  | 16.6 | 10.3  |
|      |     | 80 | 648,094   | 455,294   | 70.3  | 58,727  | 12.9 | 9.1   | 54,108  | 11.9 | 8.3   | 47,791  | 10.5 | 7.4   | 31,383  | 6.9  | 4.8   | 137,404   | 30.2 | 21.2  | 20,743  | 4.6  | 3.2   | 105,126 | 23.1 | 16.2  |
| 県 計  | 地方区 | 77 | 4,453,853 | 2,629,648 | 59.0  | 593,009 | 22.6 | 13.3  | -       | -    | -     | 518,272 | 19.7 | 11.6  | 344,239 | 13.1 | 7.7   | 1,086,512 | 41.3 | 24.4  | -       | -    | -     | 87,616  | 3.3  | 2.0   |
|      |     | 80 | 4,685,526 | 3,150,504 | 67.2  | 692,100 | 22.0 | 14.8  | -       | -    | -     | 664,167 | 21.1 | 14.2  | 462,753 | 14.7 | 9.9   | 902,170   | 28.7 | 19.3  | 349,989 | 11.1 | 7.5   | 79,325  | 2.5  | 1.7   |
|      | 全国区 | 77 | 4,453,853 | 2,625,258 | 58.9  | 468,135 | 17.8 | 10.5  | 415,245 | 15.8 | 9.3   | 269,724 | 10.3 | 6.1   | 243,843 | 9.3  | 5.5   | 507,247   | 19.3 | 11.4  | 224,396 | 8.6  | 5.0   | 496,664 | 18.9 | 11.2  |
|      |     | 80 | 4,685,526 | 3,152,301 | 67.3  | 366,615 | 11.6 | 7.8   | 404,272 | 12.8 | 8.6   | 296,109 | 9.4  | 6.0   | 275,396 | 8.7  | 5.9   | 888,909   | 28.2 | 19.0  | 87,705  | 2.8  | 1.9   | 833,293 | 26.4 | 17.8  |

地方区、77の河野は自民党に、広長は民社党に、80の大西は新自由クラブに記載した(いずれも無所属)。



参院選全国区の最終得票

改選数50/候補者数93

▽印は法定得票に達した者

|             |         |    |           |         |    |           |           |     |
|-------------|---------|----|-----------|---------|----|-----------|-----------|-----|
| 当 2,784,998 | 市川 房枝   | 無現 | 当 854,056 | 山中 郁子   | 共現 | 当 709,008 | 松本 英一     | 社現  |
| 当 2,247,157 | 青島 幸男   | 無現 | 当 843,232 | 福間 知之   | 社現 | 当 704,639 | 近藤 忠孝     | 共元  |
| 当 2,005,694 | 鳩山 威一郎  | 自現 | 当 838,721 | 丸茂 重貞   | 自現 | 当 689,042 | 中野 鉄造     | 公新  |
| 当 1,844,286 | 宮田 輝    | 自現 | 当 828,068 | 梶原 清    | 自新 | 当 686,514 | 柄谷 道一     | 民現  |
| 当 1,619,629 | 中山 千夏   | 諸新 | 当 815,100 | 黒目 今朝次郎 | 社現 | 当 683,502 | 伊藤 郁男     | 民新  |
| 当 1,508,617 | 山東 昭子   | 自現 | 当 814,950 | 鈴木 一弘   | 公現 | 当 674,958 | 立木 洋      | 共現  |
| 当 1,247,174 | 山口 淑子   | 自現 | 当 808,355 | 松浦 功    | 自新 | 当 664,826 | 粕谷 照美     | 社現  |
| 当 1,162,003 | 岡部 三郎   | 自新 | 当 797,898 | 田中正巳    | 自新 | 当 642,554 | 和田 静夫     | 社現  |
| 当 1,154,764 | 美濃部 亮吉  | 無新 | 当 787,124 | 峯山 昭範   | 公現 | ▽ 627,272 | 秦 永雄      | 社民現 |
| 当 1,129,936 | 大河原 太一郎 | 自新 | 当 781,505 | 坂野 重信   | 自現 | ▽ 623,252 | 安永 英雄     | 社現  |
| 当 1,101,880 | 田沢 哲也   | 民現 | 当 775,812 | 片山川 甚清  | 社現 | ▽ 621,145 | 渡辺 武功     | 共現  |
| 当 1,078,585 | 田智 治    | 自新 | 当 770,333 | 大山 清幸   | 公新 | ▽ 617,768 | 内藤 功      | 共現  |
| 当 1,060,695 | 斎藤 栄三郎  | 自現 | 当 768,809 | 野田 哲    | 社現 | ▽ 605,410 | 命 苦孝      | 英自新 |
| 当 1,037,410 | 村上 正邦   | 自新 | 当 765,685 | 江藤 智    | 自現 | ▽ 599,462 | 小巻 敏雄     | 共現  |
| 当 1,030,459 | 長田 裕二   | 自現 | 当 761,560 | 鈴木 和美   | 社新 | ▽ 550,476 | コロンビア・トップ | 無現  |
| 当 992,124   | 岡田 広    | 自現 | 当 748,751 | 二宮 文造   | 公現 | ▽ 527,066 | 寺沼 幸子     | 自新  |
| 当 968,439   | 井上 孝    | 自新 | 当 737,663 | 阿具根 登   | 社現 | ▽ 351,291 | 中沢 啓吉     | 自新  |
| 当 931,070   | 関口 恵造   | 自新 | 当 727,811 | 太田 淳夫   | 公現 | ▽ 297,389 | 青木 茂      | 無新  |
| 当 927,421   | 板垣 正    | 自新 | 当 712,629 | 塩出 啓典   | 公現 | ▽ 140,257 | 邱 永漢      | 無新  |
| 当 901,567   | 源田 実    | 自現 | 当 709,698 | 藤原 房雄   | 公現 |           |           |     |
| 当 892,582   | 向井 長年   | 民現 | 当 709,044 | 鶴岡 洋    | 公新 |           |           |     |

〈注〉 当選の向井長年氏が死去したため、次点の秦豊氏が繰り上げ当選になる。

## 編集後記



衆参同時選挙のため、約1カ月留守になりました。なんとか月報だけでも発刊したいと思っても、キビシイ闘いの中ではとても無理。再び合併号になってしまいました。また定期総会も6月5日を予定していましたが、これも約2カ月ズレ込んでしまい、恐縮しています。

選挙結果は本誌で特集したとおり、自民党の

大勝。神奈川はそれでも兵庫とならんで社会党が全員当選。しかし喜んではいられない。増税や物価の値上り、そして軍事大国化への道を歩みはじめている。地域の中から、反自民のとりでを築くために努力しましょう。(上林)

なんてめまぐるしい一カ月だったんだろう! ダブル選挙後、理事会、会計監査、総会と猫の手も借りたい忙しさ。負けが込んでいる中ではないけれど、もうチョット機敏に動かないとダメですね!

山積みの仕事をあとに、後髪をひかれる思いで、夏のバカンスに出発——。(桜井)

1980年7月25日発行

### 自治研かながわ月報 第32号(1980年6・7月合併号)

発行所 神奈川県地方自治研究センター  
 発行人 広田 武治 編集人 上林 得郎 定価 1部 200円  
 〒 231 横浜市中区本町1-7 東ビル 5F ☎ 045(201)1211~3  
 振替口座 労働金庫本店 1365-100982 横浜銀行市庁舎支店 317-844970

自治研かながわ月報第三二号一九八〇年（昭和五五年）七月二十五日発行（毎月二十五日発行）定価一部二〇〇円  
発行所／神奈川県地方自治研究センター 横浜市中央区本町一ノ七 東ビル五階 〇四五（二〇一）一二一一

印刷所／有限会社

編集人／上林得郎  
横浜プリント

### 会員になるには

1. 誰でも会員になれます。
2. 申込書は自治研センター事務局または自治労県本部にあります。会費月300円の半分または1年分をそえてお申し込みください。（80年1月以降は400円となります。）
3. 詳細は自治研センター事務局 ☎045 (201) 1211, または自治労県本部 ☎045 (681) 7821 へご連絡ください。

### 会員の特典

1. 自治研センターの「自治研かながわ月報」が毎月送られます。
2. 「月刊自治研」（自治労本部自治研推進委員会発行・A5判・120～150ページ定価350円）が毎月無料で購読できます。
3. 自治研センターの資料集が活用でき、調査研究会などに参加できます。